

第2次安曇野市環境基本計画

平成30年度 年次報告書

2019年3月

安曇野市

目 次

1	年次報告書について	1
1-1	目的	1
1-2	記載事項	1
1-3	留意事項	1
2	第2次安曇野市環境基本計画について	2
2-1	環境基本計画の基本事項	2
2-2	安曇野市の環境の現状	2
2-3	安曇野市がめざす環境のすがた	2
2-4	望ましい環境をつくるための取り組み	2
2-5	計画の推進体制と進行管理	2
3	安曇野市環境行動計画（2018—2022）について	2
4	安曇野市環境基本計画実施計画書について	2
5	2018（平成30）年度の取り組み	3
5-1	安曇野市環境審議会	3
5-2	環境基本計画の推進	4
5-3	環境行動計画の推進	4
5-4	環境指標達成状況	3 3
5-5	参加と協働	3 4
6	その他	3 5
6-1	安曇野市環境基本計画庁内調整会議	3 5
6-2	安曇野市生物多様性アドバイザー	3 5
6-2	安曇野環境市民ネットワーク	3 5
7	参考資料	3 9

1 年次報告書について

1-1 目的

[安曇野市環境基本条例](#)（以下「条例」という）第10条に基づき、市の環境の現状や環境の保全と創造に関して行った施策について公表するものです。市の環境の現状や課題、この一年の取り組みについて市民・事業者の皆様と情報共有するとともに、その評価や反省点を今後の施策の展開につなげていくことを目的としています。

1-2 記載事項

[第2次安曇野市環境基本計画](#)（以下「基本計画」という）、環境行動計画2018-2022（以下「行動計画」という）に基づき、本市が2018（平成30）年4月1日から2019（平成31）年3月31日までの間に取り組んだ環境に関する施策の実施状況を記載しています。

なお、省エネ・省コストを考慮し、以降の記載は前述の条例・計画の参照を前提とし、基本計画で定めた環境指標の状況や、行動計画において重点的に取り組むものとして選定された全27のプログラムの経過と結果を簡潔に記載するものとします。

本書の記述についての不明な点や取り組みの詳細は、基本計画のほか、[安曇野市里山再生計画等の環境に関連する個別計画](#)及びそれらに基づく報告書を参照していただくか、各取り組みの担当課までお問い合わせください。

1-3 留意事項

本書に記載の計画等は、市ホームページ上に公開されています。初出の箇所（青字で記載）をクリックすると掲載ページへのリンクが開きますので、必要に応じてご活用ください。（インターネット上で本書を閲覧されている場合のみ）

2 第2次安曇野市環境基本計画について

2008（平成20）年に制定した[安曇野市環境宣言](#)を基本理念として、より良い安曇野の環境を実現するための行動指針となるもので、環境の保全および創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、望ましい環境のあり方や環境施策の基本的な方向性などを示しています。また、本市の最上位計画である[第2次安曇野市総合計画](#)を環境面から推進する役割を担っています。

2-1 環境基本計画の基本事項

基本計画策定の背景、第1次基本計画の評価、第2次基本計画の基本的事項について記述しています。詳細は、基本計画第1章（P1-18）を参照してください。

2-2 安曇野市の環境の現状

安曇野市の概況、自然環境、生活環境、資源循環・地球環境、参加と協働について記述しています。詳細は、基本計画第2章（P19-52）を参照してください。

2-3 安曇野市がめざす環境のすがた

安曇野市の環境づくり、望ましい環境像・基本目標、環境指標、計画の体系について記述しています。詳細は、基本計画第3章（P57-64）を参照してください。

2-4 望ましい環境をつくるための取り組み

取り組みの基本的な考え方、取り組みの推進（個別目標）、重点取り組みの推進について記述しています。詳細は、基本計画第4章（P65-99）を参照してください。

2-5 計画の推進体制と進行管理

推進体制、進行管理、その他の計画推進方法について記述しています。詳細は、基本計画第5章（P103-111）を参照してください。

3 安曇野市環境行動計画（2018-2022）について

基本計画で定めた51の重点取り組みのうち、目標を数値で把握できるものを中心に27のプログラムを抽出し、その目標達成のための具体的な進行管理の方法を示した行政計画の一つです。基本計画の前期にあたる2018年度から2022年度を計画期間としますが、各年のPDCAサイクルによる点検・評価と改善、社会情勢の変化等により、随時見直しを行います。

行動計画で選定した取り組みの実施状況は、本書6ページ以降に掲載しています。

4 安曇野市環境基本計画実施計画書について

行動計画で選定した取り組みをプログラム化し、一年間に実施する内容を具体的に示した計画書です。進行管理シートにより目標や結果、課題を管理し、見出された改善点を翌年の計画に反映します。

5 2018（平成30）年度の取り組み

本年度の取り組みを条例に基づくもの、行動計画に基づくもの、基本計画の4つの基本目標の一つである「参加と協働」に基づくものに区分し、順次記述します。

5-1 安曇野市環境審議会（条例第17条関係）

[環境審議会](#)を以下のとおり開催し、環境の保全及び創造に関する事項について審議しました。

日付	会議名称	内容
2018（平成30）年 4月23日	第1回	(1)平成30年度環境課及び廃棄物対策課の当初予算概要について (2)安曇野市災害廃棄物処理計画について (3)第2次環境基本計画・行動計画について (4)安曇野市環境基本計画平成30年度実施計画について (5)平成30年度安曇野市一般廃棄物処理実施計画について
7月3日	第2回	(1)平成29年度環境基本計画 年次報告書について (2)新ごみ処理施設整備・運営事業の進捗状況等について (3)三郷地域畜産臭気対策について
11月6日	第3回	(1)穂高広域施設組合 新ごみ処理施設整備・運営事業に係る環境影響評価について (2)環境基本計画 平成30年度年次報告（中間）について (3)安曇野環境フェア2018について
2019（平成31）年 1月22日	第4回	(1)空家等の適正管理及び有効活用について (2)水環境基本計画にかかわる施策について (3)環境行動計画 重点取り組み 点検評価ワーキンググループの編成について
3月14日	第5回	(1)環境基本計画 平成30年度 年次報告書について (2)環境基本計画 平成31年度 実施計画書について

5-2 環境基本計画の推進

基本計画の基本目標4、個別目標15、主要施策47項目に基づく各種施策を展開しました。

5-2-1 重点取り組み

基本計画に定めた施策のうち、個別目標1から12にかかる51の重点取り組みについて、行動計画に選定したものを含め、各担当において取り組みを進めました。

5-3 環境行動計画の推進

基本計画に定めた51の重点取り組みのうち、環境指標に絡み、数値目標を定めて特に厳密に進行管理を行うべきものとして抽出した27のプログラムについての取り組み状況を次に示します。

○環境行動計画における重点取り組み一覧

種別	No.	重点取り組み	担当課・係
環境基本計画事業	1	シンボル種(オオルリジミなど地域の生態系を代表する種)やレッドリスト種などの保護活動を推進する。	環境課 環境政策係
	2	外来生物の分布状況を把握し、その悪影響に関する普及啓発を実施する。	環境課 環境政策係
	3	悪臭防止法に基づく臭気指数規制の適切な運用を図る。	環境課 環境保全担当
	4	管理不十分な空家などへの指導をする。	環境課 環境保全担当
	5	広報などで分別の徹底を啓発する。	廃棄物対策課 廃棄物対策担当
	6	事業者に対しごみの分別、減量化、資源化を指導する。	廃棄物対策課 廃棄物対策担当
	7	分別方法を分かりやすく説明する。	廃棄物対策課 廃棄物対策担当
	8	安曇野市地球温暖化防止実行計画に基づき、省エネルギーに配慮した行動を行う。	環境課 環境政策係
	9	地球温暖化防止の取り組みの「見える化」を促進する。	環境課 環境政策係
	10	公共施設を建設する際に省エネ機器・設備を率先導入する。	財産管理課 施設経営担当
	11	緑のカーテンの導入を推進する。	環境課 環境政策係
	12	住宅用太陽光発電の効果を検証する。	環境課 環境政策係

種別	No.	重点取り組み	担当課・係
各分野における基本計画事業	13	薪の地産地消率向上を推進する。	耕地林務課 林務担当
	14	里山で生産される間伐材など「安曇野材」を活用できる生産・流通の仕組みづくりを行う。	耕地林務課 林務担当
	15	里山で活動するための技術・知識を身につけるための「さとぶろ。学校」の年間を通じた講座運営をする。	耕地林務課 林務担当
	16	松枯れ対策事業を継続して行う。	耕地林務課 林務担当
	17	農地を計画的に保全し、農業生産と田園景観の基盤を守る。	農政課 集落支援担当
	18	荒廃農地対策を行う。	農政課 集落支援担当/農業委員会
	19	県知事認定の「エコファーマー」制度の推進に協力する。	農政課 生産振興担当
	20	学校における食農教育を推進する。	農政課マーケティング担当/学校教育課 教育指導室
	21	鳥獣被害防止計画を策定(見直し)し、実施する。	農政課 集落支援担当/耕地林務課 林務担当
	22	多面的機能支払交付金事業の運用・啓発を図る。	耕地林務課 耕地担当
	23	緑の恵みを感じることができる講座を開催する。	都市計画課 公園緑地係
	24	景観条例や屋外広告物条例の運用・啓発を行う。	建築住宅課 建築景観係
	25	地下水涵養に資する手法等の調査・研究・試行を実施する。	環境課 環境保全担当
	26	雨水貯留施設の設置に対する補助を行う。	環境課 環境保全担当
27	デマンド交通「あづみん」、「定時定路線」の運行を行う。	政策経営課 交通政策係	

環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：環境課 環境政策係

1. Plan (計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定時期
① [定量-2]	自然観察会の開催 年3回 延べ参加者 90人以上	・自然観察会の開催	5/3 7/7 9/8
② [定量-1]	生物多様性アドバイザー連絡会議の開催 年1回以上	・自然保護事例の情報共有および対応結果の検討 ・生きもの調査の結果報告	12月
③ [定量-1]	安曇野オオルリジミ保護対策会議の開催 年1回以上	・支援方法の検討 ・保護対策会議の庶務	6月

4. Action (改善)

目標 [評価区分]	変更の必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-2]	無	・需要が高かった烏川・渓谷緑地の観察会を次年度も企画する。また、観察会の内容充実と回数を3回から5回に増やす。 ・雨天時の屋内講座では、引き続き生きものを展示できるようにする。
② [定量-1]	無	自然保護に関する課題があった場合は、今後も意見や情報提供を依頼する。
③ [定量-1]	無	環境課主催の観察会を行い、市としても保護活動に対する市民の関心を高めるよう努める。
環境審議会 意見		・目標③について、オオルリジミの現状のPRを推奨する。

No. 1	シンボル種(オオルリジミなど地域の生態系を代表する種)やレッドリスト種などの保護活動を推進する。
-------	--

2. Do (実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-2]	3回・延べ96人 100%・106%	・計3回の自然観察会を行った。 講師：丸山氏・横内氏、自然交流体験センター せせらぎ 講師：丸山氏・北野氏、県営烏川渓谷緑地 講師：尾関氏・那須野氏、洞合自然公園	5/3 7/7 9/8
② [定量-1]	2回 200%	・公共事業等の自然保護に関する助言を受けた。 ・連絡会議は、生きもの調査の考察に係る補足意見を受けた。	12/19 3/4
③ [定量-1]	1回 100%	・事業(オオルリジミの観察会)を支援した。 ・市環境課が実施する支援策について検討した。 ・国営アルプスあづみの公園と連絡調整を図った。	5/27

※定量-1:実施した⇒A 実施しない⇒E 計画より中止した⇒C
定量-2:実施数/目標数×100= 90~100%⇒A 60~89%⇒B 30~59%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E
定性:良かつた⇒A ぶつた⇒C 悪かつた⇒E

3. Check (点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※ 状況	審議会 の評価	成果 課題
① [定量-2]	A	A	第2回は100人超の申込みがあり、需要が高いことが分かった。雨天講座では生きもの展示、実習も好評であった。 第2回、第3回が雨で屋内講座になった。
② [定量-1]	A	A	希少植物の保全が図られたほか、事業者への周知・啓発につながった。 時間の制約上、照会に係る資料が十分提供できない。
③ [定量-1]	A	A	観察会では、参加者が保護区における産卵数調査を体験するなど、具体的な活動に関わることで保護意識が高まった。 保護活動に対する市の役割の明確化
13. 情報の充実			14. 学ぶ・体験する
・広報あづみの ・市ホームページ ・安曇野エゾラン.net ・安曇野市版レトロマップ2014			・自然観察会 ・生物多様性アドバイザー ・安曇野オオルリジミ保護対策会議

環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：環境課 環境政策係

1. Plan(計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定時期
① [定量-2]	特定外来生物リポーターの募集・情報提供依頼 新規登録者 10 人	・自然観察会での募集案内	通年
② [定量-2]	駆除啓発に関する広報の実施 情報提供件数 50 件	・市広報紙などによる駆除啓発 ・特定外来生物リポーター通信の発行	5/22 5月・12月
③ [定量-1]	市有地・市道などにおける駆除活動(豊科・三郷・堀金地域) 駆除作業の実施	・駆除作業の実施	4～9月

※定量-1:実施しない⇒E 計画より中止した⇒C
定量-2:実施数量/目標数量×100= 90～100%⇒A 60～89%⇒B 30～59%⇒C 10～29%⇒D 0～9%⇒E
定性:良かつた⇒A ぶつかつた⇒C 悪かつた⇒E

4. Action(改善)

目標 [評価区分]	変更の必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-2]	無	リポーターを対象にした駆除研修会を実施する(オオハンゴンソウ)。
② [定量-2]	無	オオハンゴンソウもチラシ、ポスターに掲載する。
③ [定量-1]	無	・根や種が残っている恐れがあるため、次年度も確認・抜き取り作業を実施する。 ・4/25から6/16に開催される信州花フェスタ2019を良い機会ととらえ、市民への啓発、駆除活動の促進につなげたい。

環境審議会意見	・目標②の情報提供件数の増加に向け、小中学校へのチラシの配布、地区の活動との連携、マンネリ化の解消を推奨する。
---------	---

No. 2 外来生物の分布状況を把握し、その悪影響に関する普及啓発を実施する。

2. Do(実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-2]	新規 15人 150%	・生きもの調査プレ講座、アレチウリ駆除研修会にてチラシを配布し、募集した。	4/28 6/17
② [定量-2]	情報提供件数 44件 88%	・駆除啓発チラシを市報へ折り込み情報発信した。 ・ポスター図案をシンプルにし、わかりやすくした。 ・リポーター通信第5号を6月、第6号を12月に発行した。	6/6 6/7 12/13
③ [定量-1]	2回 100%	・駆除作業の実施(広域農道 三郷～堀金～穂高) ほかのオオキケンケイギクを抜き取りにより駆除した。 ・長野県主催のアレチウリ駆除研修会を豊科で開催し、会場の駆除活動を実施した。	6/12 6/21

3. Check(点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※ 状況	審議会の評価	成果 課題
① [定量-2]	A	A	生きもの調査プレ講座参加者から複数名登録があった。 登録者とのコミュニケーションの機会が不足している。
② [定量-2]	B	B	情報提供に基づき、土地所有者に依頼することにより、駆除に繋がった。 ポスターに掲載されていない新たな特定外来生物(オオハンゴンソウ)の繁茂が確認された
③ [定量-1]	A	A	主要道路沿いの一部群落について抜き取りによる駆除を実施し、拡大防止につながった(17か所、200kg)。 実施時期については、気候により柔軟に対応する必要がある。

13. 情報の充実	14. 学ぶ・体験する	15. 関連組織
・広報あづみの折り込み特定外来生物駆除チラシ(6/6)・ポスター	・アレチウリ駆除研修会	・区 ・区環境部

環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：環境課 環境保全担当

1. Plan(計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定 時期
① [定量-1]	広報等による規制の周知 年1回以上広報誌に掲載	市民及び当該事業者に対して、悪臭防止法に基づく臭気指数規制の内容を周知してもらうため年1回以上広報誌を活用し周知する。	6月
② [定量-1]	臭気指数規制対象事業所への改善 指導 対象事業所 年3回以上	事業者から提出された臭気低減計画の実施と進捗確認を行う。	通年
③ [定量-1]	公害監視員による巡回・監視 週1回以上の巡回(52回)	・公害監視員からの巡回報告書により、畜産臭気の発生と詳細な発生場所(原因)の収集、該当畜産農家への指導。	通年

4. Action(改善)

目標 [評価区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-1]	有	広報誌への掲載は、年1回であるため、効果的な時期を選定するとともに掲載内容の検討を行っていく。 その他、市民、事業者への周知方法を検討していく。
② [定量-1]	有	対象事業者からの改善計画書提出時から、処理施設の受入れ状況が変化して来ていることから、現状にあった改善計画書の見直し指導を行うほか、数値目標を再検討する。
③ [定量-1]	有	公害監視員から農家巡回してもらった報告書の内容を、毎月該当農家へ伝える。
環境審議会 意見		・目標②の達成状況Eは、臭気の発生を完全に抑制できなかったためと推察するが、行政の取り組みとしては監視や指導を定期的に行うことが大切なのでA評価とする。ただし、数値目標などの計画の立て方は、万人にわかりやすいよう改善を検討願う。 ・効果的な広報活動を検討願う。

No. 3 悪臭防止法に基づく臭気指数規制の適切な運用を図る。

2. Do(実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-1]	1回 100%	悪臭が発生しやすい時期(初夏)に、広報誌の掲載を計画していたが掲載スペース確保が出来ず掲載できなかった。そのため、掲載時期を見直し、年度末の広報誌に掲載することとした。	3月
② [定量-1]	5回 166%	悪臭防止法に基づく臭気指数規制対象事業所に対し、改善指導を行うとともに改善計画書に伴う報告書の提出を指示した。	通年
③ [定量-1]	52回 100%	・6月に2名の監視員の設置。 ・公害監視員から提出された巡回報告書により、畜産臭気の発生状況、発生場所(原因)を把握し、該当畜産農家へ指導を行った。(公道上の糞落下、施設周辺の整理整頓)	6月～

※定量-1:実施した回数/実施しなかった回数
定量-2:実施回数/目標回数 × 100 = 90~100% ⇒ A 60~89% ⇒ B 30~59% ⇒ C 10~29% ⇒ D 0~9% ⇒ E
定性:良かつた ⇒ A ぶつうかつた ⇒ C 悪かつた ⇒ E

3. Check(点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※ 状況	審議会 の評価	成果 課題
① [定量-1]	A	A	広報誌掲載については効果が高いと思われる3月号に掲載するようになった。 広報誌は年1回の掲載となることから、掲載時期の検討が必要。
② [定量-1]	E	A	対象事業者に改善指導を行ったが、臭気指数調査の結果はH29年度より悪かった。 改善については、改善計画書の内容を見直し改善指導を行っている。
③ [定量-1]	A	A	公害監視員が農家巡回することで、該当農家へスピーディーな指摘が出来るようになった。 公害監視員の指摘事項について、該当農家へ伝え改善予防措置へ繋げていくかが課題である。
13. 情報の充実		14. 学ぶ・体験する	15. 関連組織
・市ホームページ			・公害監視員 ・三郷畜産臭気モニター18名

環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：環境課 環境保全担当

1. Plan(計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定 時期
① [定量-1]	空家のデータベース化・広報等による適正管理・対策の周知 データベース化の実施 広報年1回以上	・市内の空家のデータベース化 ・広報による周知	通年
② [定量-1]	空家相談会の開催 奇数月/年6回/1回あたり3件	・建築士による空家相談会を実施し、相談者に適切なアドバイスを行う	通年
③ [定性]	立ち入り調査に基づく適切な指導 適切な指導の実施	・管理不十分空家等への指導 ・特定空家等への立ち入り調査の実施 ・空家等対策協議会での検討	通年

4. Action(改善)

目標 [評価区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-1]	無	H30年度で空家情報のデータベース化が完了したため、次年度は空家所有者へアンケート調査を進める。また、利活用空家の情報を空家バンク等へ伝える。
② [定量-1]	無	空家相談会は計画どおり実施できたが、相談者が少なかったため、次年度は多くの市民に参加してもらえようように検討する。司法書士による空家相談会、講演会を実施する。
③ [定性]	無	空家状況を確認した上で、引き続き問題解決に向け取り組んでいく。数値目標を検討する。
環境審議会 意見		・目標①について、特に広報誌を見る機会のない市外の方に対し、アンケートを有効活用し、情報発信、相談者の増加につなげてほしい。 ・目標②はA評価とする。相談者増に向けた取り組みを次年度の計画で具 体化してほしい。

No. 4

管理不十分な空家などへの指導をする。

2. Do(実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-1]	1回 100%	空家態調査をもとに、空家のデータベース化(電子化)を進めた。また、広報誌で年1回以上適正管理・対策の周知を行った。また、年5回改善指導を行った。	通年
② [定量-1]	年6回 100%	空家相談会を、年6回(5月、7月、9月、11月、1月、3月)に実施した。	通年
③ [定性]	5回 -	特定空家の状況把握、管理不十分な空家の現地確認、空家所有者への適切な指導を行った。	通年

※定量-1:実施した⇒A 実施しない⇒E 計画より中止した⇒C
 定量-2:実施数/目標数×100= 90~100%⇒A 60~89%⇒B 30~59%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E
 定性:良かつた⇒A ぶつた⇒C 悪かつた⇒E

3. Check(点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※ 状況	審議会 の評価	成果 課題
① [定量-1]	A	A	1,000件を超える空家情報のデータベース化ができた。8/15発行の広報誌で「空家等対策計画」を掲載し、市民へ周知した。 利活用できる空家と適正な管理を周知する空家を区分けするため、所有者への意向調査を進め、空家の利活用と管理不全の対策を行う。
② [定量-1]	E	A	年6回、広報誌で開催周知することで、6件/5回分の相談があった。 1回当たりの相談件数が3件以下となった。
③ [定性]	A	A	計画どおり実施した。 空家所有者に適正な指導をしても、課題解決には年月がかかる。
13. 情報の充実			14. 学ぶ・体験する 15. 関連組織
・広報あづみの ・市ホームページ			・相談会 ・建築士会

環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当： 廃棄物対策課 廃棄物対策担当

1. Plan(計画)

目標 [詳細区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定 時期
① [定量-1]	環境部長会議等の開催 環境部長会議は年2回、収集運搬業者との会議は年1回	・情報収集及び共有・展開検査・指導 ・環境活動交付金交付要綱等に基づく交付、支援方法の検討	4.9.2月
② [定量-2]	緑のリサイクル及び処理困難物(木くず)の受け入れ 処理量144t/年(うち、処理困難物は30t)	緑のリサイクルは市内6カ所に排出置き場を設置【処理困難物の受け入れは豊科リサイクルセンターで行う】	4~11月 【通年】
③ [定量-2]	生ごみ処理機等購入補助金の交付 交付確定件数100件/年	補助率等、生ごみ処理機は購入費の2分の1、上限額3万円。生ごみ処理容器は購入費の3分の2、1基につき3千円。	通年

4. Action(改善)

目標 [詳細区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-1]	無	継続して環境活動交付金交付要綱等に基づき、支援方法を検討する。
② [定量-2]	無	木くずのサーマルリサイクル事業開始一年後に運営要領を検討する。
③ [定量-2]	無	周知、補助内容について精査する。
環境審議会 意見		・目標③は、生ごみ処理機の稼働をごみの減量につなげることが本来目的だと思つので、運用状況の把握を指標とすることを検討願う。

No. 5

広報などで分別の徹底を啓発する。

2. Do(実行)

目標 [詳細区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-1]	各地域1回、延べ83人 100%	環境部の活動内容、市のごみ減量化・資源化事業等の説明と協力依頼。安曇野清掃事業協同組合との情報共有等。	4/17~ 4/19 1/16
② [定量-2]	緑のリサイクルチップ 量102.45t 71%	緑のリサイクルの受け入れを実施。処理困難物(木くず)のサーマルリサイクルは10/6開始	4~11月 【通年】
③ [定量-2]	申請(交付)数 90件 90%	生ごみ処理機53件、ポカシ容器24件、破砕機13件、交付額1,641,200円	通年

※定量-1:実施した⇒A 実施しない⇒E 計画より中止した⇒C
定量-2:実施数量/目標数量×100= 90~100%⇒A 60~89%⇒B 30~59%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E
定性:良かつた⇒A ぶつた⇒B 悪かつた⇒E

3. Check(点検・評価)

目標 [詳細区分]	達成※ 状況	審議会 の評価	成果 課題
① [定量-1]	A	A	遅延なく実施できている。
② [定量-2]	B	B	緑のリサイクルは昨年度並みに排出され事業が安定している。木くずのサーマルリサイクルの搬入実績は54.22t。
③ [定量-2]	A	A	前年度(87件、1,337,400円)と同様の交付状況であった。
13. 情報の充実			14. 学ぶ・体験する
・広報あづみの ・市ホームページ			15. 関連組織 ・区環境部

環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：廃棄物対策課 廃棄物対策担当

1. Plan(計画)

目標 [詳細区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定 時期
① [定量-2]	事業系一般廃棄物の減量 852t/年の減	紙類の拠点回収。製紙業者にて溶解・資源化。広報の他に商工会・組合等の団体へ直接、分別・減量化・資源化を要請。	通年
② [定量-1]	収集運搬許可業者との会議を開催 年1回以上	情報収集及び共有、展開検査、指導。	7.2月
③ [定量-2]	事業系一般廃棄物の資源化 年30t以上	木くずをチップ化し熱原料に使用。	通年

No. 6 事業者に対しごみの分別、減量化、資源化を指導する。

2. Do(実行)

目標 [詳細区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-2]	74t/年の増	9月20日に商工会々員(約1,900事業者)に文書で依頼。他に広報誌・HPで周知。10月から事業所より排出される一般廃棄物の紙類(新聞紙、段ボール、雑誌・雑紙)に限りリサイクルセンターで受け入れる。H800・11.162t、H29・・・11.088t	通年
② [定量-1]	1回 100%	展開検査を実施、分別指導と資源化を要請した。安曇野清掃事業協同組合との情報・意見交換。	6/20、 7/18、 1/16
③ [定量-2]	0 0%	6月：手数料条例の改正、7～9月広報実施、10月6日受入れ開始。	通年

※定量-1:実施した⇒A 実施しない⇒E 計画より中止した⇒C
 定量-2:実施数量/目標数量×100= 90～100%⇒A 60～89%⇒B 30～59%⇒C 10～29%⇒D 0～9%⇒E
 定性:良かつた⇒A ぶつかつた⇒C 悪かつた⇒E

4. Action(改善)

目標 [詳細区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-2]	無	正確な搬入方法を検討する。
② [定量-1]	無	無
③ [定量-2]	無	継続して広報活動を実施する。
環境審議会 意見		<ul style="list-style-type: none"> ・目標①②では、リサイクル資源化に関して記述しているため、リサイクル量の報告を受けた方が評価しやすいので検討願う。 ・目標①について、現時点(3.14審議会)で数値が把握不可なのは仕方ないが、穂高クリーンセンターへの事業系ごみの搬入量は把握可能と思われるので、昨年の値とあわせ、判断材料として提供願う。

3. Check(点検・評価)

目標 [詳細区分]	達成※ 状況	審議会 の評価	成果 課題
① [定量-2]	E	E	事業所から排出される一般廃棄物の一部を受け入れる体制ができた。 事業者が適正に分別し、搬入行動をしてくれるかが課題である。
② [定量-1]	A	A	遅延なく実施できている。
③ [定量-2]	E	E	無 搬入実績なし。 事業系一般廃棄物と産業廃棄物の判別が課題である。
13. 情報の充実			14. 学ぶ・体験する 15. 関連組織
・広報あづみの ・市ホームページ			・安曇野市商工会 ・安曇野清掃事業協同組合

環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：廃棄物対策課 廃棄物対策担当

1. Plan (計画)

目標 [詳細区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定 時期
① [定量-2]	リサイクル率の向上 前年実績(12.2%)を上回る	民間回収の増加に伴い、市による資源物収集量は減少化にあるが、「資源物・ごみ出し方の手引き」の発行等によりリサイクルを推進する	2月
② [定量-2]	ごみ分別アプリの配信と普及促進 初年度インストール件数は2,000件	ごみ分別促進アプリの維持管理、情報発信、利用者数の把握	通年
③ [定量-2]	環境学習会の開催 環境学習会は20人の参加者	収集した資源物の資源化状況を現地確認、環境学習会の開催	8.9.10月

4. Action (改善)

目標 [詳細区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-2]	無	継続して広報活動を実施する。
② [定量-2]	無	継続して広報活動を実施する。
③ [定量-2]	無	子どもさんの参加が多く見込まれる時期に開催する。引き続き広報誌、ホームページを活用し、継続実施していくことが重要である。
環境審議会 意見		・目標②のごみ分別アプリについて、自身のごみ排出量の確認やごみを減らすアイデアを紹介するものに発展させることを検討願う。

No. 7

分別方法を分かりやすく説明する。

2. Do (実行)

目標 [詳細区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-2]	10.8 89%	家庭用「資源物・ごみ出し方の手引き」をの改訂版をH31年2月に発行し、各戸配布。 (参考:資源ステーション及びリサイクルセンターにおける総収集量/年 H30・・・2,625t、H29・・・2,879t)	通年
② [定量-2]	1,218 61%	収集日の変更案内等をプッシュ配信	通年
③ [定量-2]	18人 90%	資源リサイクル講話等	9/24

※定量-1:実施した⇒A 実施しない⇒E 計画より中止した⇒C
定量-2:実施数量/目標数量×100= 90~100%⇒A 60~89%⇒B 30~59%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E
定性:良かつた⇒A ぶつかつた⇒C 悪かつた⇒E

3. Check (点検・評価)

目標 [詳細区分]	達成※ 状況	審議会 の評価	成果 課題
① [定量-2]	B	B	「資源物・ごみ出し方の手引き」をの改訂版の各戸配布は、遅延なく実施できた。 新ごみ処理施設の稼働(2021年3月)に合わせて排出方法等の見直しが必要である。
② [定量-2]	B	B	遅延なく実施できている。 インストール件数が伸びない。
③ [定量-2]	A	A	アンケート結果では役に立った、改めて再認識したなど好評であった。 参加者数の増加、維持していく必要がある。また、参加者が全員、大人であった。
13. 情報の充実			14. 学ぶ・体験する 15. 関連組織
・広報あづみの ・市ホームページ			・環境学習会 ・岳の会

環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：環境課 環境政策係

1. Plan(計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定 時期
① [定量-1]	中間評価及び年度末評価 環境活動レポートの作成	取組結果のとまりまとめ及び公表	7月・ 11月
② [定量-1]	小中学校等における取組推進 認証・登録	更新審査時における小中学校等施設 の認証・登録施設の拡大	2月
③			

※定量-1:実施した⇒A 実施しない⇒E 計画どしが中止した⇒C
 定量-2:実施数量/目標数量×100= 90~100%⇒A 60~89%⇒B 30~59%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E
 定性:良かつた⇒A ぶつうだった⇒C 悪かつた⇒E

4. Action(改善)

目標 [評価区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-1]	無	次年度受審予定の中間審査に向け、庁内における内部監査、また、更新 審査時の指導事項について対応する。
② [定量-1]	有	取組施設以外に対する環境マネジメントを検討する必要がある。
③		
環境審議会 意見	・なし	

No. 8 安曇野市地球温暖化防止実行計画に基づき、省エネルギーに配慮した行動を行う。

2. Do(実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-1]	作成済 100%	中間評価の実施	12/19
② [定量-1]	認証済 100%	更新審査の受審	11/15、 16
③			

3. Check(点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※ 状況	審議会 の評価	成果 課題
① [定量-1]	A	A	評価に合わせ、施設別CO2排出量ランキングを作成し、職員へ周 知した。 年度末に向け、意識の継続を図る必要がある。
② [定量-1]	A	A	目標どおり、拡大予定施設において認証・登録となった。 更新審査での指導事項を次年度の中間審査までに対応する必要 がある。
③			
・市ホームページ	13. 情報の充実	14. 学ぶ・体験する	15. 関連組織 ・エコアクション21中央事務局・ 地域事務局

環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：環境課 環境政策係

1. Plan(計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定 時期
① [定量-2]	環境家計簿モニターの募集 新規登録者 10世帯	広報誌、市HPにおける募集案内	12月・ 翌1月
② [定量-2]	電気・ガス等使用量の集計 回収数 70世帯	・半年毎記録票の収集 ・結果のとりまとめ及び広報、市HP への結果掲載	7月・ 翌1月
③ [定量-1]	事業者向け省エネ対策の推進 講演会の開催	対策事例、県の取り組み等の紹介	10月

4. Action(改善)

目標 [評価区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-2]	無	引き続き、広報によりモニターを増やし、市民の意識向上を図る。
② [定量-2]	無	引き続き、モニターへの依頼時に、返信用封筒を同封し、記録票の提出をお願いする。
③ [定量-1]	無	環境施策において関心のある事業者へ直接開催案内を行う。
環境審議会 意見		・本事業の周知方法について提案する。

No. 9 地球温暖化防止の取り組みの「見える化」を促進する。

2. Do(実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-2]	6世帯 60%	広報誌、市HPによる前年の結果報告、募集案内	12月
② [定量-2]	60世帯 86%	返信用封筒による記録票の回収、翌年分の協力依頼 時に提出依頼。	1月
③ [定量-1]	実施済 100%	長野県職員による今後の動きと施策メニュー、株式会社リコーにおける環境活動への取り組みの紹介	10/25

※定量-1:実施しない⇒E 実施しない⇒E 計画より中止した⇒C
 定量-2:実施数/目標数×100= 90~100%⇒A 60~89%⇒B 30~59%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E
 定性:良かつた⇒A ぶつた⇒B 悪かつた⇒E

3. Check(点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※ 状況	審議会 の評価	成果 課題
① [定量-2]	B	B	新規登録者は6世帯となり、計124世帯がモニターとなっている。 2世帯の方が辞退となり、登録後の継続実施が重要である。
② [定量-2]	B	B	記録票は返信用封筒を用いることにより、60世帯の回収となった。 前年は61世帯。また、半期のみの回答者が4世帯おり、回収率の 向上が必要。
③ [定量-1]	A	A	安曇野市商工会、安曇野工業会の後援を受け、計21人の出席と なった。 より出席者が増えるようしていく必要がある。
13. 情報の充実			14. 学ぶ・体験する
・広報あづみの ・市ホームページ			・環境家計簿 ・事業者向け環境講座 ・環境フェア ・総合的な学習の時間
			・安曇野地球温暖化協議会 ・安曇野工業会

環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：財産管理課 施設経営担当

1. Plan(計画)

目標 [詳細区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定 時期
① [定量-2]	高効率照明器具の採用 照明のLED化(100%)	新築・改修物件でLED照明の採用	通年
② [定量-2]	省エネ設備の導入 トイレ機器・冷暖房機器(100%)	新築・改修物件で省エネ設備の採用	通年
③ [定量-1]	建物負荷の低減 断熱性能の向上(新築100%)	断熱性能の高い建具・外壁等での 熱負荷の低減	通年

2. Do(実行)

目標 [詳細区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-2]	3件 100%	設計において、LED照明を採用 (学校施設改修非構造部材耐震化設計等)	4月 ～9月
② [定量-2]	1件(トイレ機器) 4件(冷暖房機器) 100%	設計において、節水型便器を採用 (コテージ四季の郷改修工事設計他) 設計においてヒートポンプ式高効率エアコンを採用 (認定こども園空調機改修他)	4月 ～9月
③ [定量-1]	1件 100%	設計において実施 (コテージ四季の郷改修工事設計他)	4月 ～9月

※定量-1:実施した⇒A 実施しない⇒E 計画より中止した⇒C
 定量-2:実施数/目標数×100= 90～100%⇒A 60～89%⇒B 30～59%⇒C 10～29%⇒D 0～9%⇒E
 定性:良かつた⇒A ぶつかつた⇒C 悪かつた⇒E

4. Action(改善)

目標 [詳細区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-2]	無	使用状況に応じた機器の選定
② [定量-2]	無	コストと節水のバランスを常に意識する。
③ [定量-1]	無	コストとのバランスおよび効果を常に意識する。
環境審議会 意見		・引き続きの取り組みをお願いしたい。

3. Check(点検・評価)

目標 [詳細区分]	達成※ 状況	審議会 の評価	成果 課題
① [定量-2]	A	A	全ての設計及び工事でLED照明を採用した。 特になし。
② [定量-2]	A	A	全ての設計及び工事で設備を採用した。 特になし。
③ [定量-1]	A	A	省エネ性能を満足した設計施工ができた。 特になし。
13. 情報の充実			14. 学ぶ・体験する
	—	—	15. 関連組織

No. 10 公共施設を建設する際に省エネ機器・設備を率先導入する。

環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：環境課 環境政策係

1. Plan (計画)

目標 [詳細区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定 時期
① [定量-1]	緑のカーテン講座の実施 年1回	温暖化及び緑のカーテンに関する講座の開催	6月
② [定量-2]	市施設における緑のカーテンの実施 35施設	苗を配布による取組推進	通年
③ [定量-2]	緑のカーテン写真展の実施 年1回	環境フェアにおける緑のカーテン写真展の開催	10月

2. Do (実行)

目標 [詳細区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-1]	1回 100%	NPO法人あづみ野風土舎及び株式会社環境アセスメントセンター職員を講師に迎え、講座を開催した。	6/2
② [定量-2]	35施設 100%	市内インフォメーションにより実施を勧奨した。	4/6
③ [定量-2]	1回 100%	安曇野環境フェア2018にて写真展を開催した。	10/6、7

※定量-1:実施した⇒A 実施しない⇒E
 定量-2:実施数/目標数×100= 90~100%⇒A 60~89%⇒B 30~59%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E
 定性:良かった⇒A 悪かった⇒E

4. Action (改善)

目標 [詳細区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-1]	無	引き続き広報誌、ホームページを活用し、継続実施していくことが重要である。
② [定量-2]	無	苗の注文時に定植数の提示などを行い、募集を受ける。
③ [定量-2]	無	広報誌、ホームページによる募集に加え、②の実施設へ写真提供を求めるとしたい。
環境審議会 意見		・取り組みNo.10の省エネ設備の導入とあわせ、取り組みを広めてほしい。

3. Check (点検・評価)

目標 [詳細区分]	達成※ 状況	審議会 の評価	成果 課題
① [定量-1]	A	A	参加者が48人(昨年度22人)と大幅増となった。 参加者数の増加、維持をしていく必要がある。
② [定量-2]	A	A	実施施設は35となり、目標達成となった。 定植数が不適切な施設が見受けられたため、助言する必要がある。
③ [定量-2]	A	A	NPO法人あづみ野風土舎と連携し実施した。 写真の展示数が13件に留まった。
13. 情報の充実			14. 学ぶ・体験する
・広報あづみの ・ホームページ ・安曇野エコプラン.net			15. 関連組織 ・NPO法人 あづみ野風土舎 ・緑のカーテン講座 ・環境フェア

No. 11
緑のカーテンの導入を推進する。

環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：環境課 環境政策係

1. Plan (計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定 時期
① [定量-2]	太陽光発電システム設置への補助 190件	1kwあたり30,000円(4kwを上限)とした補助金の交付	通年
② [定量-2]	太陽熱利用システム設置への補助 5件	設置に要する経費の5分の1(限度額4万円)とした補助金の交付	通年
③ [定量-1]	住宅用太陽光発電の効果検証 実施要領の作成	補助効果把握のため、太陽光発電システム補助対象者へのアンケート方法の検討	通年

2. Do (実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-2]	交付確定171件 90%	広報あづみの、市ホームページにより周知し、申請を受け付けている。	通年
② [定量-2]	交付確定4件 80%	広報あづみの、市ホームページにより周知し、申請を受け付けている。	通年
③ [定量-1]	実施済 100%	次年度の実施に向けた、アンケート案の作成	3月

※定量-1:実施しなかった⇒A 実施しなかった⇒E 計画より中止した⇒C
 定量-2:実施数/目標数×100= 90~100%⇒A 60~89%⇒B 30~59%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E
 定性:良かった⇒A 悪かった⇒E

4. Action (改善)

目標 [評価区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-2]	無	実績報告書等の書類提出を丁寧に従う。また、次年度引き続き太陽光発電の普及のため、補助を継続する。
② [定量-2]	無	補助制度の一層の周知とともに制度の存続について検討する。
③ [定量-1]	無	2016年度補助対象者273人へアンケートを実施する。
環境審議会 意見		・補助金の交付に関する記述が、テーマである「太陽光発電の効果検証」に相応しいか疑問がある。取り組み自体はよい。

3. Check (点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※ 状況	審議会 の評価	成果 課題
① [定量-2]	A	A	交付確定数171件 実績報告書の提出が遅延した事例があった。
② [定量-2]	B	B	交付確定数4件 昨年に引き続き、交付件数が目標を下回った。
③ [定量-1]	A	A	他自治体から参考となるアンケートが得られた。 アンケート回収率の向上と新補助制度の確立
・広報あづみの ・市ホームページ			14. 学ぶ・体験する 15. 関連組織 対象外

環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当： 耕地林務課 林務担当

1. Plan(計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定 時期
① [定量-2]	木質バイオマス利用促進PJの開催 年12回開催	・薪の生産 ・薪生産技術研修会	通年
② [定量-2]	薪ボイラーへの薪の提供 薪の提供量 年間400m ³	・しゃくなげの湯への薪の提供	通年
③			

※定量-1:実施した⇒A 実施しない⇒E 計画し中止した⇒C
 定量-2:実施数/目標数×100= 90~100%⇒A 60~89%⇒B 30~59%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E
 定性:良かった⇒A 悪かった⇒B

4. Action(改善)

目標 [評価区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-2]	有	プロジェクト活動から、1つの市民活動グループができ、今後の活動の支援方法を検討する必要がある。
② [定量-2]	無	ボイラーの故障により薪の提供量は計画以下となっているが、修理後については問題なく提供されている。
③		
環境審議会 意見		・目標①の市民活動グループの支援については、他のグループとの連携も検討されたい。 ・目標②については、そもその目標数値の設定に無理がないか検証・精査をお願いする。

No. 13 薪の地産地消率向上を推進する。

2. Do(実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-2]	16回 133%	・木質バイオマス利用促進PJの開催3回 ・救命救急講習会の開催 1回 ・薪生産活動 10回 ・薪頒布会 2回	通年
② [定量-2]	272.8m ³ 68%	・しゃくなげの湯への薪の提供	通年
③			

3. Check(点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※ 状況	成果 課題
① [定量-2]	A	プロジェクト活動を16回実施した。 市民活動グループへの支援内容の検討
② [定量-2]	B	松枯れ材の薪272.8m ³ を提供している。 安定供給するための原木確保
③		
推進組織等 意見		(主な推進組織の名称:里山再生計画推進協議会) ・7月9日実施予定

環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：耕地林務課 林務担当

1. Plan (計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定時期
① [定量-2]	安曇野材利用促進PJの開催 年5回開催	・安曇野材の情報提供 ・木材供給調整	通年
② [定量-2]	あつみの里山市の開催 参加者数250人	・安曇野材の展示・販売 ・安曇野材のPR	10月
③ [定量-2]	安曇野材の利用促進 安曇野材の年間利用量150m ³	・一般住宅への安曇野材提供	通年

2. Do (実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-2]	4回 80%	・安曇野材利用促進PJの開催 伐採情報の共有 商品の開発	通年
② [定量-2]	210人 84%	・あつみの里山市の開催	10/13
③ [定量-2]	113m ³ 75%	・一般住宅への安曇野材提供	通年

※定量-1:実施した⇒A 実施しない⇒E 計画中止した⇒C
 定量-2:実施数/目標数×100= 90~100%⇒A 60~89%⇒B 30~59%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E
 定性:良かった⇒A 良かった⇒C 悪かった⇒E

4. Action (改善)

目標 [評価区分]	変更の必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-2]	無	プロジェクト会議により、安曇野材の情報提供が図られている。
② [定量-2]	無	第3回の里山市が開催され、身近に安曇野材に触れる機会と安曇野材の利用促進が図れたが、昨年に比べ来場者数は減った。 次年度以降も引き続き実施する必要がある。
③ [定量-2]	無	川上の伐採情報が川下の建築士まで共有できる体制ができ、安曇野材が以前より利用しやすくなっている。
環境審議会 意見		・数値目標が適当であるか精査願う。また、取り組み内容に関する記述も 具体性に欠けるため検討をお願いしたい。

3. Check (点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※ 状況	成果 課題
① [定量-2]	B	4回のプロジェクト会議を実施した。 身近に利用できる方法や商品の検討
② [定量-2]	B	あつみの里山市が開催され、210人の参加があった。 来場者を増やすための周知方法と開催時期の再検討
③ [定量-2]	B	113m ³ の安曇野材の利用が図られた。 安曇野材の安定供給体制の整備
推進組織等 意見		(主な推進組織の名称:里山再生計画推進協議会) ・7月9日実施予定

No. 14 里山で生産される間伐材など「安曇野材」を活用できる生産・流通の仕組みづくりを行う。

環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：耕地林務課 林務担当

1. Plan(計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定 時期
① [定量-2]	里山学校プロジェクトの開催 年3回開催	プロジェクトの運営検討	通年
② [定量-2]	「さとぶろ。学校」の開講 年9回 延べ受講者100人以上	さとぶろ。学校の開催	4月～12 月
③			

※定量-1:実施した⇒A 実施しない⇒E 計画し中止した⇒C
 定量-2:実施数/目標数×100= 90～100%⇒A 60～89%⇒B 30～59%⇒C 10～29%⇒D 0～9%⇒E
 定性:良かった⇒A 良かった⇒C 悪かった⇒E

4. Action(改善)

目標 [評価区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-2]	無	2回のプロジェクト会議を他、さとぶろ。学校の運営会議を8回開催した。 卒業生の中からの中心となる人材の発掘
② [定量-2]	無	第3期のさとぶろ。学校が開校され、8人の生徒が受講している。 次年度も継続し、里山で活動する市民を育てる。 第2次計画の策定にあわせ、現在の仕組みから改善する。
③		
環境審議会 意見	・なし	

No. 15

里山で活動するための技術・知識を身につけるための「さとぶろ。学校」の年間を通じた講座運営をする。

2. Do(実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-2]	10回 333%	・里山学校プロジェクト開催 2回開催 ・さとぶろ。学校運営会議 8回	通年
② [定量-2]	9回 100%	・さとぶろ。学校 8講開催 ・特別講座 1回	5月～9月
③			

3. Check(点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※ 状況	成果 課題
① [定量-2]	A	2回のプロジェクト会議の実施 さとぶろ。学校卒業生のステップアップ方法の検討
② [定量-2]	A	さとぶろ。学校 8講を開催 運営方法の改善
③		
推進組織等 意見		(主な推進組織の名称:里山再生計画推進協議会) ・7月9日実施予定

【各分野における基本計画事業】
環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：耕地林務課 林務担当

1. Plan (計画)		予定期
目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容
① [定量-2]	松枯損木伐倒くん蒸処理の実施 処理内の松枯損木数600本/年以下	松枯損木伐倒くん蒸処理の実施 ・処理計画面積418ha
② [定量-2]	薬剤散布による防除の実施 散布内の松枯損木数600本/年以下	薬剤散布による防除 ・実施計画面積 30ha/年
③ [定量-2]	樹幹注入による予防の実施 処理区域内松枯損木10本/年以下	樹幹注入による予防 ・処理区域5ha(300本/年)
		通年
		6月～7月
		11月～3月

No. 16 松枯れ対策事業を継続して行う。

2. Do (実行)		期日等
目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容
① [定量-2]	641本処理 94%	松枯損木伐倒くん蒸処理の実施 ・伐倒くん蒸処理 4,061㎡
② [定量-2]	1,058本処理 57%	無人ヘリ薬剤散布 25ha実施 ・地上散布 4ha実施
③ [定量-2]	15本 67%	樹幹注入による予防 松211本、薬剤1,040本実施 ・処理区域5ha(129本/年)
		通年
		6月・7月

※定量-1:実施した⇒A 実施しない⇒E 計画中止した⇒C
 定量-2:薬剤数量/目標数量×100= 90～100%⇒A 60～89%⇒B 30～59%⇒C 10～29%⇒D 0～9%⇒E
 定性:良かった⇒A 悪かった⇒B 悪かった⇒C 悪かった⇒E

4. Action (改善)	
目標 [評価区分]	変更の必要性
① [定量-2]	無
② [定量-2]	無
③ [定量-2]	無
環境審議会 意見	・松枯損木の処理のように、少ない方が良いという数値目標の設定はわかりにくい。難しいであろうが、計画の立て方を再考してほしい。

3. Check (点検・評価)	
目標 [評価区分]	達成状況
① [定量-2]	A
② [定量-2]	C
③ [定量-2]	B
推進組織等 意見	(主な推進組織の名称: 松くい虫被害対策協議会) ・東山、2月20日、5月10日、西山 2月27日実施時意見なし

目標 [評価区分]	達成状況	成果 課題
① [定量-2]	A	全体の伐倒くん蒸処理を4,061㎡実施した。 区域内(堀金・三郷)の枯損木の処理本数は641本となっている。 守るべき松林の範囲、期間の検討
② [定量-2]	C	無人ヘリ薬剤散布を25ha実施し、散布区内の枯損木の処理本数は、1,058本となっている。 守るべき松林の範囲、期間の検討
③ [定量-2]	B	樹幹注入による予防 松211本、薬剤1,040本実施した。 樹幹注入剤の効果期間の適正管理による継続的な実施

環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：農政課 集落支援担当

1. Plan (計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定 時期
① [定量-2]	認定農業者数の確保・育成 認定農業者数267人	人・農地プランの策定による担い手の掘り起こし	2月～3月
② [定量-2]	集落営農組織の設立支援 集落営農組織数27組織	集落懇談会への参加	未定
③			

※定量-1:実施した⇒A 実施しない⇒E 計画し中止した⇒C
 定量-2:実施数/目標数×100= 90～100%⇒A 60～89%⇒B 30～59%⇒C 10～29%⇒D 0～9%⇒E
 定性:良かった⇒A 悪かった⇒E

4. Action (改善)

目標 [評価区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-2]	無	3月末開催の人農地プラン検討会の開催による担い手の掘り起こしを行う。
② [定量-2]	無	集落営農組織の検討ができるよう、農地最適化推進委員に制度等の周知を行う。
③		
環境審議会 意見		・目標①について、次年度の数値目標が本年度実績を下回っているため、担当課と協議願う。

No. 17

農地を計画的に保全し、農業生産と田園景観の基盤を守る。

2. Do (実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-2]	281人 105%	営農相談等により認定農業者を確保した。	通年
② [定量-2]	27組織 100%	1地区集落営農懇談会の開催支援をした。 集落営農組織部会を開催し、情報交換を行った。	7月30日 3月6日
③			

3. Check (点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※ 状況	成果 課題
① [定量-2]	A	新たな認定農家を確保した。
② [定量-2]	A	1地区集落懇談会に参加。 集落営農組織の設立までには、引き続き話し合いが必要。
③		
推進組織等 意見		(主な推進組織の名称:農業・農村振興計画推進委員会) ・8月上旬実施予定

環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：農政課 集落支援担当/農業委員会

1. Plan(計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定 時期
① [定量-2]	荒廃農地の解消支援 荒廃農地面積40ha (参考:基準年2015. 57.5ha)	・荒廃農地の発生・解消状況に関する調査 ・荒廃農地等活用促進交付金(国事業)の活用	通年
②			
③			

※定量-1:実施しない⇒A 実施し中止した⇒C
 定量-2:実績数/目標数×100= 90~100%⇒A 60~89%⇒B 30~59%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E
 定性:良かった⇒A 悪かった⇒E

4. Action(改善)

目標 [評価区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など	環境審議会 意見
① [定量-2]	無	国の交付金が次年度以降廃止のため、新たな制度の検討をしていく。	・荒廃農地面積など、減らした方がよい数値目標は一般にはわかりにくい ため、取り組み前の面積を記述するなどし、わかりやす表記を心がけてい たい。
②			
③			

No. 18

荒廃農地対策を行う。

2. Do(実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-2]	32.6ha 122%	国や市の交付金を交付し荒廃農地の再生を図った。 荒廃農地状況調査実施。	通年
②			
③			

3. Check(点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※ 状況	成果 課題	推進組織等 意見
① [定量-2]	A	国の交付金を4件交付し、荒廃農地約1.8ha解消。 荒廃農地解消は、資金がかかることから交付金等がないと進まない。	(主な推進組織の名称:農業・農村振興計画推進委員会) ・8月上旬実施予定
②			
③			

環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：農政課 生産振興担当

1. Plan(計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定 時期
① [定量-1]	環境に配慮した安全・安心な農業講座の開設 年1回	直売所生産者や、多面的機能支払交付金事業取組地区の農業者を対象に、環境に配慮した農業に関する講座を開催する。	11月～12月
②			
③			

※定量-1:実施した⇒A 実施しない⇒E 計画し中止した⇒C
 定量-2:実施数/目標数×100= 90～100%⇒A 60～89%⇒B 30～59%⇒C 10～29%⇒D 0～9%⇒E
 定性:良かった⇒A 悪かった⇒E

4. Action(改善)

目標 [評価区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-1]	-	講習会等の開催により「環境保全型農業」の取組者にきっかけを作り、今後の取組者の増加に繋がっていく必要がある。
②		
③		
環境審議会 意見	・なし	

No. 19

県知事認定の「エコファーマー」制度の推進に協力する。

2. Do(実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-1]	1回 100%	直売所生産者や、多面的機能支払交付金事業取組地区の農業者を対象に、環境に配慮した農業に関する講座を開催した。	1月24日
②			
③			

3. Check(点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※ 状況	成果 課題
① [定量-1]	A	講座開催により、農家が環境に配慮した農業に取組むきっかけを作れた。 実際に取組者の増加。
②		
③		
推進組織等 意見		(主な推進組織の名称:農業・農村振興計画推進委員会) ・8月上旬実施予定

環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：農政課マーケティング担当・学校教育課 教育指導室

1. Plan (計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定 時期
① [定量-2]	食農教育(教育ファーム)の推進 小中学校14校(年間)	小中学校での農業体験を実施すること で、「食」の根本である農業に関する知 識を身につけ、食への感謝の心を育む 食農教育を推進する。	通年
②			
③			

※定量-1:実施した⇒A 実施しない⇒E 計画し中止した⇒C
 定量-2:実施数/目標数×100= 90~100%⇒A 60~89%⇒B 30~59%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E
 定性:良かった⇒A 悪かった⇒C 悪かつた⇒E

No. 20 学校における食農教育を推進する。

2. Do (実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-2]	14校 100%	進捗状況の確認。市内17の小中学校のうち、14校で取 り組みが行われている。 新たな取り組みの提案。	
②			
③			

4. Action (改善)

目標 [評価区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など	環境審議会 意見
① [定量-2]	無	未実施の学校へ、食農教育の意義や効果を説明し、具体的な提案を行っ ていく。	・保健所などが行う衛生管理や健康管理事業とタイアップして実施すると 総合的な話をきき効果的と考えるので、検討をお願いしたい。
②			
③			

3. Check (点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※ 状況	成果 課題	推進組織等 意見
① [定量-2]	A	目標の学校数で実施しており、食と農の大切さ知り感謝の心を育む。 未実施の学校への積極的な働きかけ。	(主な推進組織の名称:農業・農村振興計画推進委員会) ・8月上旬実施予定
②			
③			

環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：農政課 集落支援担当/耕地林務課 林務担当

1. Plan(計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定 時期
① [定量-2]	農作物鳥獣被害対策支援 農作物被害金額8,080千円	・安曇野市野生鳥獣被害防止対策 補助金の活用 ・地域に適した対策の研究	通年
②			
③			

※定量-1:実績値⇒A 実績値が中止した⇒C
 定量-2:実績数量/目標数量×100= 90~100%⇒A 60~89%⇒B 30~59%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E
 定性:良かった⇒A 良かった⇒C 悪かった⇒E

4. Action(改善)

目標 [評価区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-2]	無	引き続き、防止対策の周知など実施していく。 次年度は、防止計画の改定を予定しており、関係機関と連携を図りたい。
②		
③		
環境審議会 意見	・なし	

No. 21 鳥獣被害防止計画を策定(見直し)し、実施する。

2. Do(実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-2]	9,479千円 85%	電気柵設置講習会を宮城で開催し、県の技術員から電 気柵の設置方法、エアガン操作の説明を受けた。参加 者約20人	9/13 通年
②			
③			

3. Check(点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※ 状況	成果 課題
① [定量-2]	B	補助金13件交付し、農作物被害を防止した。 有害鳥獣は常にいるため、継続実施が必要。
②		
③		
推進組織等 意見		(主な推進組織の名称:農業・農村振興計画推進委員会) ・8月上旬実施予定

環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：耕地林務課 耕地担当

1. Plan(計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定 時期
① [定量-2]	組織の拡充を図る 組織数 54組織	農業用水路や農道等の草刈り、泥上げ、砂利道の作業や補修等を支える組織の拡充を図る。	12月
② [定量-2]	田圃風景の保全のため、取組面積の増加を図る 事業取組面積 3,050ha	遊休荒廃農地への取り組みや、水路や農道敷の草刈り作業により、安曇野の田圃風景の保全を図る。	5月～11月
③			

※定量-1:実施しない⇒A 実施しない⇒E 計画し中止した⇒C
 定量-2:実施数/目標数×100= 90～100%⇒A 60～89%⇒B 30～59%⇒C 10～29%⇒D 0～9%⇒E
 定性:良かった⇒A 良かった⇒C 悪かった⇒E

4. Action(改善)

目標 [評価区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-2]	無	事務の軽減を図るために、組織の広域化を図る
② [定量-2]	無	継続して取り組み面積の増加を図る。
③		
環境審議会 意見	・なし	

No. 22 多面的機能支払交付金事業の運用・啓発を図る。

2. Do(実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-2]	組織数 57組織 105%	穂高3組織、三郷1組織が新規取り組みを行った。	通年
② [定量-2]	3479ha 114%	新規取り組み4組織と既存3組織の取組面積増加があった。	通年
③			

3. Check(点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※ 状況	成果 課題
① [定量-2]	A	目標以上の取り組み組織数となった。 事務負担の軽減
② [定量-2]	A	目標以上の取り組み面積となった。
③		
推進組織等 意見		(主な推進組織の名称:農業・農村振興計画推進委員会) ・8月上旬実施予定

環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：都市計画課 公園緑地係

1. Plan(計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定 時期
①	2020年から		
②			
③			

No. 23

緑の恵みを感じることができる講座を開催する。

2. Do(実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
①			
②			
③			

※定量-1:実施した⇒A 実施しない⇒E 計画し中止した⇒C
 定量-2:実施数値/目標数値×100= 90~100%⇒A 60~89%⇒B 30~59%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E
 定性:良かった⇒A 良かった⇒C 悪かった⇒E

4. Action(改善)

目標 [評価区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など
①		
②		
③		
環境審議会 意見		・2020年度からの取り組みであっても、スムーズに導入できるよう2019年度中から準備を進めていただきたい。

3. Check(点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※ 状況	成果 課題
①		
②		
③		
推進組織等 意見		(主な推進組織の名称:(仮称)みどりのまちづくり推進会議) ・2020年度以降に設立予定

環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：建築住宅課 建築景観係

1. Plan(計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定 時期
① [定量-1]	景観づくり講座の開催 年1回	景観条例、屋外広告物条例の周知に伴う講座の開催	通年
② [定量-1]	屋外広告物定期パトロール 年24回	屋外広告物の定期パトロールにより、未申請案件の把握と適正な指導を行う。	毎月2回
③			

※定量-1:実施した⇒A 実施しない⇒E 計画し中止した⇒C
 定量-2:実施数/目標数×100= 90~100%⇒A 60~89%⇒B 30~59%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E
 定性:良かった⇒A 悪かった⇒E

4. Action(改善)

目標 [評価区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-1]	無	継続して出前講座で景観づくりの説明を行う。
② [定量-1]	無	継続して屋外広告物の定期パトロールを実施し、未申請案件の把握と適正な指導を行う。
③		

環境審議会
意見

・なし

No. 24

景観条例や屋外広告物条例の運用・啓発を行う。

2. Do(実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-1]	1回 100%	協働のまちづくり出前講座 「次世代に誇れる景観づくり」 穂高 高下区	通年
② [定量-1]	24回 100%	屋外広告物の定期パトロールにより、未申請案件の把握と適正な指導を行った。	毎月2回
③			

3. Check(点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※ 状況	成果 課題
① [定量-1]	A	出前講座の要望があり平成31年2月2日、景観づくりの説明を行った。
② [定量-1]	A	屋外広告物の定期パトロールにより、未申請案件の把握と適正な指導を行った。 未申請案件：9件、破損等による改修指導：9件
③		

推進組織等
意見

(主な推進組織の名称：景観審議会)
・10月頃実施予定

環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：環境課 環境保全担当

1. Plan(計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定 時期
① [定量-2]	地下水講座等の開催 延べ150人以上	地下水講座、子ども体験プログラム、出前講座の実施	通年
② [定量-2]	人為的な地下水涵養 60万m ³ /年	水資源対策協議会における涵養施策の検討	通年
③			

30

No. 25

地下水涵養に資する手法等の調査・研究・試行を実施する。

2. Do(実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-2]	336人 224%	・8/15 自然観察会「湧水を調べてみよう」(17人) ・10/6 アクアソムリエセミナー(22人) ・10/6 あそびから知る水のはなし(31人) ・5/29、8/31、12/6 出前授業3回(256人) ・1/20 出前講座(10人)	通年
② [定量-2]	32万m ³ 53%	人為的な地下水涵養に向けて、他の課と協力し施策に取り組んだ。その他として、新たな人為的な地下水涵養施策の検討を進めた。	通年
③			

※定量-1:実施した⇒A 実施しない⇒E 計画し中止した⇒C
定量-2:実施数値/目標数値×100= 90~100%⇒A 60~89%⇒B 30~59%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E
定性:良かった⇒A 良かった⇒C 悪かった⇒E

4. Action(改善)

目標 [評価区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-2]	無	環境フェアの水イベントでは、多くの市民に参加していただけたという企画・宣伝等を検討していく。 次年度は、児童、生徒の出前講座だけでなく、教員を対象にした出前授業に取り組んでいく。
② [定量-2]	有	今後、水資源対策協議会で人為的な地下水涵養事業を検討し、効果検証を行いながら試験していく。国、関係機関と調整を図っていく。
③		
環境審議会 意見		・なし

3. Check(点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※ 状況	成果 課題
① [定量-2]	A	環境フェアの子ども体験プログラム、学校への出前授業により、子どもに対して地下水の関心を持ってもらえるように努めた。 出前事業では好評であるが、環境フェア内の水イベントでは創意工夫が必要である。
② [定量-2]	C	新規需要米に伴う人為的な涵養を行うことができた。 河川の水利用は営農のための権利であり、この水利用を涵養目的に利用できない。
③		
推進組織等 意見		(主な推進組織の名称:水資源対策協議会) ・5月13日実施時意見なし。

環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：環境課 環境保全担当

1. Plan(計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定 時期
① [定量-2]	雨水貯留槽施設設置補助 12基/年	市民向けに、雨水貯留槽施設設置を推進していく。	通年
②			
③			

※定量-1:実施した⇒A 実施しない⇒E 計画し中止した⇒C
 定量-2:実施数量/目標数量×100= 90~100%⇒A 60~89%⇒B 30~59%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E
 定性:良かった⇒A 良かった⇒C 悪かった⇒E

No. 26

雨水貯留槽施設の設置に対する補助を行う。

2. Do(実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-2]	5基 42%	雨水貯留槽施設設置及び補助金の活用を促すため、市内資材店3店舗にPRチラシを設置した。	通年
②			
③			

4. Action(改善)

目標 [評価区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-2]	有	広報等を上手に活用し、市民への周知方法を検討していく。
②		
③		
環境審議会 意見		・広報にあたっては、工務店やメーカーとの連携や、使用者への取材をPRにつなげることを検討願う。

3. Check(点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※ 状況	成果 課題
① [定量-2]	C	3店舗にPRチラシを設置したが、思ったより効果が薄かった。 雨水を活用することに対して市民の関心度が薄い。
②		
③		
推進組織等 意見		(主な推進組織の名称:水資源対策協議会) ・5月13日実施時意見なし。

環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：政策経営課 交通政策係

1. Plan(計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定 時期
① [定量-2]	あづみん(デマンド交通、定時定路線)の運行 デマンド交通利用者88,000人/年	あづみん(デマンド交通、定時定路線)の運行	通年
② [定量-1]	利便性の向上に向けた検討及び利用促進に向けた啓発活動 市報及び会報の発行年1回	利用促進に向けた広報による啓発	通年
③			

32

No. 27 デマンド交通「あづみん」、「定時定路線」の運行を行う。

2. Do(実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-2]	デマンド交通利用者 86,273人 98%	・10月1日からの「あづみん」一部運行見直しに向けて、5地域で市民説明会を開催(参加者101人) ・ドライバー・オペレーター合同研修会を開催(参加者:ドライバー18人・オペレーター7人)	5/22～ 27 9/11・12
② [定量-1]	出前講座 3回 広報掲載 2回 100%	・出前講座の実施(実施日:参加者数) 8/1:8人、1/17:38人、3/7:12人 ・広報あづみんのNo.277(9/17発行)、No.286(2/20発行)にて利用促進の広報を実施	8・1・3月 9/17 2/20
③			

※定量-1:実施した⇒A 実施しない⇒E 計画し中止した⇒C
定量-2:実績数値/目標数値×100=90~100%⇒A 60~89%⇒B 30~59%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E
定性:良かった⇒A 悪かった⇒B 悪かつた⇒C 悪かつた⇒E

4. Action(改善)

目標 [評価区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など	環境審議会 意見
① [定量-2]	無	・研修会の開催によりサービスの向上を図り、利用者の更なる増加につなげる。 ・平成30年10月からの一部運行見直しの効果を検証し、利便性の向上につなげていく。	
② [定量-1]	無	・広報紙への掲載や出前講座、利用者との意見交換など積極的に広報を行い、主な利用者である高齢者の新規利用者を起すことにも、利用促進を図る。	・デマンド交通だけでなく、自転車の利用促進にかかる事業についても、あわせて取り組みを進めることを検討願いたい。
③			

3. Check(点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※ 状況	成果 課題	推進組織等 意見
① [定量-2]	A	利用者が前年に比べて増加した。(85,123人→86,273人) 運行見直し後は予約断り件数が減少した。(8月536件→3月214件) 運転手のサービスの統一と向上が必要。	
② [定量-1]	A	広報紙による周知と出前講座により、あづみんの利用促進が図られた。 引き続き、利便性・経済性を訴えるなど、利用者増につながる広報が必要。	(主な推進組織の名称:地域公共交通協議会) ・5月29日実施時意見なし。
③			

5-4 環境指標達成状況（基本計画P62-63）

環境基本計画で定めた環境指標の達成状況を下表に示します。

個別目標	環境指標	基準年 (2016年度)	策定年 (2017年度)	第1年次 (2018年度)	第2年次 (2019年度)	第3年次 (2020年度)	第4年次 (2021年度)	第5年次 (2022年度)	目標 (2022年度)
1 山岳地をまもる	山岳に関するイベントの参加者数 (登山マナーの普及啓発を含む)	3,800 人/年	4,000 人/年	3,000 人/年					4,500 人/年
		84.4%	88.9%	66.7%					100.0%
2 里山をまもる	安曇野材の年間利用実績 里山学校の年間受講者数（延べ）	150 m/年	154 m/年	113 m/年					220 m/年
		68.2%	70.0%	51.4%					100.0%
		105 人/年	283 人/年	352 人/年					150 人/年
		70.0%	188.7%	234.7%				100.0%	
3 里地をまもる	認定農業者数 集落営農組織数	267 経営体	273 経営体	281 経営体					270 経営体
		98.9%	101.1%	104.1%					100.0%
		27 組織	27 組織	27 組織					28 組織
		96.4%	96.4%	96.4%					100.0%
4 川や水辺をまもる	多面的機能支援交付金事業活動	51 組織	54 組織	57 組織					61 組織 注1)
		83.6%	88.5%	93.4%					100.0%
5 生きものをまもる	「生きもの調査」の実施 特定外来種駆除活動の参加者数	1 回/5年	-	1 回/5年					1 回/5年
		100.0%	#VALUE!	100.0%					100.0%
		7,790 人/年	7,228 人/年	6,923 人/年					8,000 人/年
		97.4%	90.4%	86.5%				100.0%	
6 身近な自然とふれあう	1人当たり都市公園・その他公園の面積（国営・県営公園を除く） 緑の恵みを感じることができる講座の開催	7.9 m/人	7.9 m/人	7.9 m/人					9.2 m/人 注2)
		85.9%	85.9%	85.9%					100.0%
		2 回/年	4 回/年	4 回/年					4 回/年
		50.0%	100.0%	100.0%				100.0%	
7 景観や歴史・文化を大切に	景観づくり講座開催回数	0 回/年	1 回/年	1 回/年					5 回/年
		0.0%	20.0%	20.0%					100.0%
8 豊富できれいな水の環境をまもる	上水道普及率 水洗化率 人為的な地下水涵養量	99.0%	99.0%	99.1%					100.0% 注2)
		99.0%	99.0%	99.1%					100.0%
		81.9%	84.0%	84.6%					88.9%
		92.1%	94.5%	95.2%					100.0%
		112.8 万m ³ /年	112.8 万m ³ /年	113.1 万m ³ /年				180.0 万m ³ /年	
		62.7%	62.7%	62.8%				100.0%	
9 きれいな空気と静かな環境をまもる	窒素酸化物・ダイオキシン類濃度測定値 自動車交通騒音測定値基準値超過地点	基準値以下 注3)	基準値以下	基準値以下					基準値以下 注3)
		1 地点	1 地点	1 地点					0 地点
		-	-	-					-
10 公害・化学物質などの問題をなくす	苦情件数	265 件/年	254 件/年	179 件/年					220 件/年
		120.5%	115.5%	81.4%					100.0%
11 ごみを少なくする	市民1日1人当たりのごみ排出量 資源物排出量 事業系可燃ごみ排出量	787 g/人・年	785 g/人・年	796 g/人・年					736 g/人・年
		106.9%	106.7%	108.2%					100.0%
		3,354 t/年	2,995 t/年	2,793 t/年					3,142 t/年
		106.7%	95.3%	88.9%				100.0%	
		10,859 t/年	11,088 t/年	11,162 t/年				7,451 t/年 注5)	
		145.7%	148.8%	149.8%				100.0%	
12 地球温暖化に対応する	安曇野地域の温室効果ガス排出量 2015（平成27）年度基準年に対する市の事務事業における温室効果ガス削減率 「あづみん」（デマンド交通）の利用者数	65.1 万t-CO ₂ /年 注4)	62.7 万t-CO ₂ /年	63.5 万t-CO ₂ /年					51.3 万t-CO ₂ /年 注5)
		126.9%	122.2%	123.8%					100.0%
		3.12%	0.36%	-6.59%					-4.90% 注5)
		-63.7%	-7.3%	134.5%				100.0%	
		85,365 人/年	85,123 人/年	86,273 人/年				88,000 人/年	
		97.0%	96.7%	98.0%				100.0%	
13 環境情報を充実させる	安曇野エコプラン.netアクセス数	-	1,030 件/年	2,080 件/年					3,500 件/年
		-	29.4%	59.4%					100.0%
14 環境について学ぶ体験する	安曇野市環境市民ネットワークによる環境学習プログラムの提供数 安曇野環境フェア来場者数 信州型自然保育 注6) を受ける児童の割合 行動計画に基づき環境学習の開催数	24 件/年	24 件/年	24 件/年					30 件/年
		80.0%	80.0%	80.0%					100.0%
		1,900 人/年	1,700 人/年	1,800 人/年					2,100 人/年
		90.5%	81.0%	85.7%					100.0%
		52.0 %/年	53.9 %/年	54.4 %/年					54.0 %/年
		96.3%	99.8%	100.7%				100.0%	
		9 回/年	10 回/年	10 回/年				10 回/年	
		90.0%	100.0%	100.0%				100.0%	
15 環境保全活動を活発にする	環境美化活動団体数（累計） 環境美化活動参加者数（累計）	217 団体/年	215 団体/年	307 団体/年					277 団体/年
		78.3%	77.6%	110.8%					100.0%
		34,187 人/年	31,894 人/年	42,538 人/年				36,000 人/年	
		95.0%	88.6%	118.2%				100.0%	

注1) 個別計画の2021年度目標値

注2) 個別計画の2026年度目標値

注3) 窒素酸化物濃度基準値：0.04～0.06ppm範囲内又はそれ以下（日平均値）

ダイオキシン類濃度基準値：0.6pg-TEQ/m³以下（年平均値）

注4) 2014（平成26）年度の値

注5) 個別目標の2020年度目標値

注6) 「信州型自然保育」の詳細は、第2次安曇野市環境基本計画97ページのコラム内を参照。

5-5 参加と協働

基本計画に定めた施策のうち、個別目標13から15にかかる施策について、各担当が取り組みを進めました。ここでは、環境情報の充実や環境学習の推進、環境保全活動の活発のために環境課が行った取り組みのうち、参加と協働という視点で特徴的だった事業についてのみ記述します。

(1) 安曇野環境フェア2018

【開催概要】

- ア) コンセプト 豊かで美しい自然環境を守り、快適な生活環境を次代につなぐまちをつくろう！
- イ) テーマ 緑を守る それは何？
- ウ) 主催 安曇野市、安曇野環境フェア 2018 実行委員会
- エ) 共催 安曇野環境市民ネットワーク
- オ) 日時 10月6日(土) 9時30分～16時、7日(日) 9時～16時
- カ) 会場 安曇野市堀金総合体育館(安曇野市堀金烏川 2662)
- キ) 来場者数 1日目：1,000人 2日目：800人 計1,800人

(2) 46億年・地球の道in安曇野

【開催概要】

- ア) 内容 地球の歴史を460mの距離に置き換え、壮大な物語や生命の進化を学び、地球環境に多大な影響を与えた人類のあり方を考える。
- イ) 主催 安曇野市
- ウ) 共催/協力 安曇野環境市民ネットワーク/アルプスあづみの公園管理センター
- エ) 日時 8月18日(土) 9時30分～11時、16時～17時30分
- オ) 会場 国営アルプスあづみの公園 堀金・穂高地区
- カ) 参加者数 52人

(3) 第3回安曇野市生きもの調査

【開催概要】

- ア) 内容 生きものの変化を調べることで、身近な生きものへの理解を深めることを目的として、「身近な生きもの」、「希少な生きもの」、「注意すべき生きもの」計66種を対象に市内の生育・生息状況を調査。
- イ) 調査期間 3月21日(水)～10月31日(水)
- ウ) 調査対象種 身近な生きもの30種、希少な生きもの24種、注意すべき生きもの12種
- エ) 観察会等 プレ講座、自然観察会(計3回)、報告会の開催 参加者計189人
- オ) 調査参加者 141人、2団体
- カ) 調査結果 61種、1,299件の報告を分析し、安曇野市生物多様性アドバイザー監修のもと「[第3回安曇野市生きもの調査 調査結果](#)」を発行。

6 その他

6-1 安曇野市環境基本計画庁内調整会議（安曇野市環境基本計画庁内調整会議設置要綱）

環境基本計画庁内調整会議において、基本計画及び行動計画の進捗状況の確認と課題の検討を行うとともに、各種施策の調整を行いました。また、実施計画書及び年次報告書の原案を作成しました。

6-2 安曇野市生物多様性アドバイザー（安曇野市生物多様性アドバイザー設置要綱）

安曇野市の豊かな自然環境や動植物種の多様性を将来にわたり維持していくことを目的に、安曇野市版レッドデータブック等で著された希少生物の保護及び重要な自然環境の保全等に関し、専門家の意見を聴くため、連絡会議を2回開催したほか、必要に応じて意見照会を行いました。

また、「第3回安曇野市生きもの調査」の実施にあたっては、実施方法や報告書作成の監修を行いました。

6-3 安曇野環境市民ネットワーク

6-3-1 概要と事業内容

安曇野環境市民ネットワーク（以下「ネットワーク」という）は、市内または各地域において環境保全のための活動を行っている団体や個人が集まり、協働や連絡・調整を行うことによって、より良い安曇野の環境を創出することを目的として平成21年9月に発足しました。

事業内容は、大きく分けて①コミュニケーション、②環境学習の企画と実施、③環境基本計画および行動計画の実施、④普及啓発の4つです。

平成30年度の組織体制及び事業内容は次のとおりです。

（1）組織体制

- 1) 会員構成 : 28団体、2個人
- 2) 役員構成 : 座長 1人、副座長 1人、運営委員 10人、会計 1人、監事 1人
- 3) 事務局 : 安曇野市市民生活部環境課

（2）事業内容

- 1) 主催事業
- 1) -①運営委員会、総会、環境講座「環カフェ」

日付	会議等名称	内容
2018（平成30）年 6月2日	第1回 「環カフェ」	<ul style="list-style-type: none"> ・「緑のカーテン講座」 <ul style="list-style-type: none"> ①身近な生活のなかで取り組める温暖化対策 ②緑のカーテンの作り方とゴーヤの育て方 ・講師等：①(株)環境アセスメントセンター 美馬 純一 氏 ：②NPO 法人 あづみ野風土舎 の皆様 ・参加者：48人
12月18日	第2回 「環カフェ」	<ul style="list-style-type: none"> ・「信州環境カレッジ」事業説明、補助制度活用事例紹介 ・講師等：(事業説明)長野県環境部環境政策課 松井 博 氏 ：(事例紹介)NPO 法人 森倶楽部 21 永田 千恵子 氏 ・参加者：17人
2019（平成31）年 1月24日	運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度総会について
2月22日	第3回 「環カフェ」	<ul style="list-style-type: none"> ・「第36回全国都市緑化信州フェア（信州花フェスタ2019）」について ・「第3回安曇野市生きもの調査」の結果について ・参加者：16人
2月22日	総会	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度事業報告及び収支決算 ・平成31年度事業計画及び収支予算

1) -②環境学習プログラムの推進事業

『安曇野環境市民ネットワーク 団体活動紹介・環境学習プログラム』パンフレットを作成・配布しました。計1,000部を印刷し、安曇野環境フェア2018や環カフェで配布したほか、市内小・中学校及び市内公民館（中央・分館）へ配布・設置しました。

1) -③登録団体間の情報交換及び情報発信事業

登録団体の開催するイベントや環境関連の様々な情報について、メーリングリスト（18回）やニュースレター（安曇野環境市民ネットワーク通信、2回）、Webページ「[安曇野エコプラン.net](http://anatomyeco-plan.net)」（18回）上での情報発信などを行いました。

また、主催・共催事業の開催にあたっては広報誌で周知したほか、必要に応じてチラシを作成し、公共施設及び市内小・中学校等に配布しました。

2) 共催事業

2) -①安曇野環境フェア2018

- ア) 安曇野環境フェア実行委員として協力
- イ) 出展・発表

2) -②46億年地球の道in安曇野

- ア) 参加者募集及び当日運営への協力

3) 後援事業

3) -① ネットワーク登録団体等の関連イベントの後援及び情報発信

ネットワーク登録団体の関連イベントについて後援を行ったほか、メーリングリスト、Web ページ「安曇野エコプラン.net」上での情報発信を行いました。

4) 協力事業

4) -① 学校や市民団体等からの講師依頼対応（環境学習資源の有効活用に係わるコーディネート）

明科中学校の総合的な学習の時間「ホームタウン明科」の全講座、アルプスあづみの公園管理センターが主催する「さとやま楽校～さとやま発展講座～」の一部講座について、ネットワーク加入団体が講師を務め、地域の学生や住民への環境学習推進に御尽力いただいた。

2018（平成30）年度 明科中学校の総合的な学習の時間「ホームタウン明科」

日付	内容	担当者
2018（平成30）年 5月28日	開講式	横田座長 NPO 法人 信州ツキノガメ研究会
6月4日	長峰山での自然観察	NPO 法人 森倶楽部 21
6月18日	ぬかくどを使ってご飯を炊こう	NPO 法人 安曇野ふるさとづくり応援団
6月25日	長峰山での昆虫と植物観察	三郷昆虫クラブ
7月9日	マイ箸づくり体験 箸入れ、箸袋づくり体験	マイ箸づくりサポートボランティア 安曇野市消費者の会
9月3日	地球温暖化についてみんなで考えよう	安曇野地球温暖化協議会
9月10日	身近な生きもの調査と生物多様性	長野県鳥川溪谷緑地 鳥川溪谷緑地市民会議
10月15日	閉講式	横田座長ほか

2018（平成30）年度 さとやま楽校

日 付	内 容	主催/講師等
2018（平成30）年 4月22日～ 10月28日	やまこの学校 全10回 参加者：延べ312人	やまこの学校
5月5日	さとやま講演会～里山の自然の魅力。 保全の担い手～ 参加者：42人	あづみの公園/ オオルリシジミ保護対策会議 三郷昆虫クラブ
5月12日～ 11月25日	収穫の教室 全4回 参加者：延べ39人	あづみの公園/ みのむしの会、NPO法人 信州 そばアカデミー、いしょく会
5月19日～ 11月3日	田んぼの教室 全6回 参加者：延べ300人	あづみの公園/ みのむしの会、岩原の自然と 文化を守り育てる会、コープ ながの
10月2日～ 11月27日	案内人の教室 全4回 参加者：延べ37人	NPO 法人安曇野ふるさとづく り応援団

4) -②安曇野市環境審議会、環境基本計画庁内調整会議との連携・協力

安曇野市環境基本計画・環境行動計画との連携、協力として、安曇野市版環境家計簿、特定外来生物リポーター事業、自然観察会、第3回生きもの調査等へ参加しました。

また、審議会にネットワーク加入団体の年度内活動状況について報告しました。

5) 参加団体による活動

ネットワーク登録団体間や環境審議会との情報共有を目的として活動状況アンケートを実施したところ、全28団体のうち12団体より回答がありました。アンケートにより把握できた活動のみになりますが、この一年間に市内で行われた環境に関するイベント、講座、ボランティア活動等の件数は、61件にのびりました。（行政がかかわるものを除く。）

また、イベント、講座等の実施にあたり、運営資金の確保、運営人員の確保、参加者の募集に課題を感じ、他の環境活動団体や審議会に対し、事業の広報への協力やイベント等の共催を期待するという回答が比較的多くなりました。

なお、アンケート結果の詳細を参考資料として次ページ以降に示します。

7 参考資料

■平成30年度 安曇野環境市民ネットワーク 活動アンケート結果

ネットワーク登録団体間や、環境審議会との情報共有を目的として、登録団体の平成30年度における活動状況についてアンケートを依頼したところ、全28団体のうち、12団体より回答いただきました。

○報告を受けた団体一覧

活動分野	団体名
生活、環境	安曇野市不用食器リサイクル実行委員会
地球温暖化	安曇野地球温暖化協議会
環境	NPO法人 あづみ野風土舎
景観、農林	NPO法人 安曇野ふるさとづくり応援団
景観	アルプス花街道実行委員会
景観	潮沢ロマンの会
自然、生活	生活協同組合コープながの
自然	田淵行男記念館こども自然観察教室「むしの会」
環境	(公財)長野県長寿社会開発研究センター 松本地区賛助会 安曇野地域会
地球温暖化	マイ箸づくりサポートボランティア
自然、景観	NPO法人 森倶楽部 2 1
自然	野生生物資料情報室

(50音順)

アンケート回答がありました団体の年間活動記録について以下に掲載します。

団体名	安曇野市不用食器リサイクル実行委員会
記入者名	宗像 章

日付	イベント・講座名	会場	参加人数
7月11日	不用食器回収研修会	市庁舎4階	30人
7月22日	不用食器回収日	運動公園	400人
7月23日	不用食器もったいない市	運動公園	30人
10月6、7日	環境フェア展示交換会	堀金総合体育館	70人

特に来場者からの反響が大きかった活動とその理由

イベント・講座名： 不用食器回収会

理由：家庭内にある不用食器のリデュース、リユース、リサイクルの意識改革と実践で廃棄食器（埋土）の減少

団体名	安曇野地球温暖化協議会
記入者名	樋口 嘉一

日付	イベント・講座名	会場	参加人数
4月10日	安曇野地球温暖化協議会総会	くるりん広場	2名
4月28日	安曇野市「生き物調査」説明会に出席	安曇野市本庁舎	50名
5月7日及び9日	平成30年度「地球温暖化対策・自然エネルギー研究会」に出席	伊那地域振興局及び長野県庁	—
6月2日	安曇野市「緑のカーテン講座」に出席	安曇野市本庁舎	40人
6月5日	ea21事務局の「エコアクション21」セミナーに出席	岡谷市(県工業技術総合センター)	40人

日付	イベント・講座名	会場	参加人数
6月15日	佐久平中小企業振興会総会での基調講演	佐久市跡部	31人
6月26日	共和アスコン様訪問 (エコアクション21・環境コミュニケーション大賞の企業)	共和アスコン	8人
7月9日 及び17日	「信州環境カレッジ」事業説明会に出席	長野県庁及び 塩尻市文化センター	—
7月25、26 日	安曇野市職員への「エコアクション21」教育を実施 (2日で5回)	安曇野市本庁舎	279人
7月28日	「信州環境フェア2018」の査察	長野市ビッグハット	—
9月3日	安曇野市立明科中学校のホームタウン明科・自然観察講座で「中学生の地球温暖化防止」について講演	安曇野市立明科中学校	26人
9月14日	小諸市民大学講座「地球温暖化と私達の未来」に出席	小諸文化センター	—
10月6、7 日	「安曇野環境フェア2018」に出展、地球温暖化防止パネル・器材の展示・説明・資料配布の実施	安曇野市堀金総合体育館	1,800人
10月6日	「安曇野環境フェア2018」の環境活動発表会で「SDGs (持続可能な開発目標) について」を講演	安曇野市堀金総合体育館	25人
10月23日	「信州環境カレッジ」交流会に出席	長野市生涯学習センター	33人
10月25日	安曇野市の「事業者向け環境講座」に出席	安曇野市本庁舎	35人
11月8日	「長野県環境保全協会中信支部総会・講演会」に出席	松本商工会館	50人
11月11日	「長野県地球温暖化防止活動推進セミナー」に出席	松本商工会館	70人
11月21日	長野県環境保全協会中信支部の「エコ施設見学会」に出席	甲府市他	18人
12月18日	安曇野環境市民ネットワークの第2回環カフェ「環境カレッジ事業とその事例について」に出席	安曇野市本庁舎	40人
12月6日 及び14日	環境省家庭エコ診断制度の「うちエコ診断」について7件実施	諏訪合同庁舎 及び大町市	7人
1月21日	平成30年度長野県地球温暖化防止活動推進員研修会 (情報交換会) に出席並びに「推進員の活動報告」を講演	岡谷市生涯学習館	29人
1月24日	安曇野市の環境市民ネットワークの運営委員会出席	安曇野市本庁舎	8人
2月9日	安曇野市の「いきもの調査報告会」出席 (予定)	安曇野市本庁舎	
2月11日	「住まいから考える健康セミナー」に出席 (予定)	ホテルブエナビスタ	—
2月22日	安曇野市の環境市民ネットワーク総会に出席 (予定)	安曇野市本庁舎	
4月～3月	安曇野市『環境審議会』に出席 (4/23, 7/3, 11/6, 1/22及び3/14予定)	安曇野市本庁舎	委員20人、行政

特に来場者からの反響が大きかった活動とその理由

イベント・講座人：安曇野市立明科中学校のホームタウン明科・自然観察講座で「中学生の地球温暖化防止」について講演

理由：地球温暖化防止のワークショップで中学生から「COOL CHOICE」の活発な発表があった。

団体名	NPO法人 あづみ野風土舎
記入者名	今泉 一

日付	イベント・講座人	会場	参加人数
5月19日	緑のカーテン広げよう講座	碓山公園 研成ホール	80人
6月4日	環カフェ緑 緑のカーテン講座(主催環境課)	市役所	48人
10月7、8日	環境フェア参加	堀金総合体育館	
10月13日	緑のカーテン広げようコンサート	碓山公園 研成ホール	120人
通年9回	柏矢町三角地整備		延べ50人

特に来場者からの反響が大きかった活動とその理由

イベント・講座人：「緑のカーテン広げよう」講座

理由：安曇野市周辺の市町村からの参加者が増え、緑のカーテンが広がっていることを実感した。参加者の熱心な質疑も成果があった。

団体名	NPO法人 安曇野ふるさとづくり応援団
記入者名	宮崎 崇徳

日付	イベント・講座人	会場	参加人数
4月15日	第26回ふるさとウォッチングin安曇野	豊科鳥羽地区	45人

日付	イベント・講座人	会場	参加人数
5月26日 ～6月24日	安曇野さんぽ2018春	市内	46人
10月2日 ～11月27日	さとやま楽校案内人の教室	国営アルプス あづみの公園	12人
10月8日	第26回ふるさとウォッチングin安曇野	穂高宮城地区	43人
10月27日 ～11月24日	安曇野さんぽ2018春	市内	35人

特に来場者からの反響が大きかったものとその理由

イベント・講座人 : ふるさとウォッチングin安曇野

理由 : ゆっくり歩きながら地域の歴史文化を学び、ぬかくどで炊いたおむすびを食べて参加者と交流ができる。

団体名	アルプス花街道実行委員会
記入者名	地域づくり課 まちづくり推進係 金子 洋樹

日付	イベント・講座人	会場	参加人数
5月26日	アルプス花街道 一斉定植	市内9か所	1,474人
5～11月	マリーゴールドの育成・周辺除草等、景観形成	同上	同上

特に来場者からの反響が大きかったものとその理由

イベント・講座人 : _____

理由 : _____

団体名	潮沢ロマンの会
記入者名	宝 喜吉

日付	イベント・講座人	会場	参加人数
6月5日	潮沢柏尾の魅力 明科公民館講座	明科公民館	40人
10月6、7日	安曇野環境フェア2018 歩いてみつけた潮沢のいいところ	堀金総合体育館	

日付	イベント・講座人	会場	参加人数
10月15日	中信地区社会教育委員連絡会 旧国鉄篠ノ井線廃線敷の紹介	明科公民館 廃線敷	80人
12月2日	ふるさとCM大賞 明北小学校 廃線敷の魅力	ホクト文化ホール	
2月23日	子ども会育成会潮沢 潮沢の歴史	潮沢公民館	
11月2～ 4日	文化祭 潮沢ロマンの会 パネル出展	明科公民館	

特に来場者からの反響が大きかったものとその理由

イベント・講座人： 中信地区社会教育委員連絡会 廃線敷の紹介

理由： 中信地区市町村参加のため、潮沢地区の歴史等が紹介できたこと

団体名	生活協同組合 コープながの
記入者名	召田 洋一

日付	イベント・講座人	会場	参加人数
5月19日	田植え体験	国営アルプス あづみの公園	31人
6月10日	田んぼの草取り体験等	国営アルプス あづみの公園	17人
6月16日	田んぼの草取り体験等	国営アルプス あづみの公園	11人
6月16日	田んぼの生き物調査	J A あづみ 圃場	26人
7月1日	田んぼの草取り体験等	国営アルプス あづみの公園	8人
9月23日	秋の七草をめぐる散策	長峰山	14人
10月6日	脱穀体験	国営アルプス あづみの公園	15人
10月21日	バウムクーヘンと万華鏡作り	長峰山	49人
12月1日	正月飾り作り講座	国営アルプス あづみの公園	33人

特に来場者からの反響が大きかったものとその理由

イベント・講座人： 12/1 正月飾り作り講座

理由： 稲わらの有効活用と手作りによる正月飾り

団体名	田淵行男記念館こども自然観察教室「むしの会」
記入者名	

日付	イベント・講座人	会場	参加人数
4月14日	開校式と記念館周辺での観察会	ビレッジ安曇野	28人
5月12日	昆虫採集	光城山	36人
6月2日	オオルリシジミの観察	国営アルプスあづみの公園	34人
7月14日	昆虫観察	県営烏川溪谷緑地	23人
8月4日	ライトトラップ	光城山	23人
9月8日	学習会	豊科近代美術館	12人
10月13日	昆虫観察	県営烏川溪谷緑地	23人
11月10日	化石の採掘体験	松本市四賀化石館	30人
12月8日	冬鳥と越冬幼虫の観察	松本市アルプス公園	20人
2月10日	自然文化講演会と修了式	三郷公民館	予定

特に来場者からの反響が大きかったものとその理由

イベント・講座人： 8/4のライトトラップ

理由：夏休みの夜に山頂で白い幕にライトを当て、昆虫を集めて行う観察会ということで、毎年人気がある。

団体名	(公財)長野県長寿社会開発研究センター 松本地区賛助会 安曇野地域会
記入者名	小松 松雄

日付	イベント・講座人	会場	参加人数
5月19日	緑のカーテン (オーシャンブルー)	碌山公園研成ホール	14人

日付	イベント・講座人	会場	参加人数
9月5日	安曇野市ごみ処理場見学・内容受講	穂高クリーンセンター	27人
12月18日	しめ縄飾り作り	穂高会館	10人
	ボランティア 市役所駐車場草取り 5地区社協・児童館 草取り又は窓ふき		17人

特に来場者からの反響が大きかったものとその理由

イベント・講座人：安曇野市ごみ処理場見学・内容受講

理由：市内生誕者も知らなかった。市外からの転入者からは自分の在住内の施設内容を知りたかった。ごみ分別については再認識。

団体名	マイ箸づくりサポートボランティア
記入者名	矢口 今朝雄

日付	イベント・講座人	会場	参加人数
7月9日	自然観察講座	明科中学校	26人
8月21日	安曇野市朗人大学講座	社協豊科支所	19人
10月6、7日	安曇野環境フェア	堀金総合体育館	35人
11月17日	松本ブロックボランティア交流集会	豊科ふれあいホール	100人

特に来場者からの反響が大きかったものとその理由

イベント・講座人：安曇野市朗人大学講座

理由：女性は初めてカンナをもった方がほとんどで、徐々に箸の形に仕上げる過程の難しさ、物作りの楽しさが味わえた。

団体名	特定非営利活動法人 森倶楽部21
記入者名	森 芳昭

日付	イベント・講座人	会場	参加人数
5月14日	明科高校総合学習事前授業	明科高校	5人
5月26日	信州の里山をもっと楽しく 第1回「里山を使った環境学習を体験しよう」	会田中学校	7人
5月29日	明科高校1年長峰山ハイキングでの担当地域の生徒への案内、説明	長峰山	7人
6月4日	ホームタウン明科「自然観察講座」	長峰山	5人
8月26日	水田跡地ビオトープ勉強会+池の泥掘り	長峰山	11人
9月2日	自然観察in長峰山	長峰山	11人
9月23日	森林の里親契約 コープながの 秋の七草と長峰山トレッキング	長峰山	6人
10月6日	ぼくらの学校	松本市市民サポートセンター	3人
10月6、7日	安曇野環境フェア2018	堀金総合体育館	11人
10月21日	森林の里親契約 コープながの 竹を使ってバウムクーヘンと万華鏡	長峰山	11人
11月17日	自然観察in長峰山 2018 野鳥	長峰山	9人
12月18日	安曇野市環境市民ネットワーク「第2回環カフェ」	安曇野市役所	1人

注：参加人数は森倶楽部21の会員のみ記載

特に来場者からの反響が大きかったものとその理由

イベント・講座人：森林の里親契約 コープながの 竹を使ってバウムクーヘンと万華鏡
理由：募集開始から直ぐに定員が埋まった。体験型でお土産も付くので親子連れの参加者が多い。ただのお楽しみではなく、イベント内容に関連した里山の環境学習の時間も設けた。特に子供たちが熱心に話を聞いてくれた。

団体名	野生生物資料情報室
記入者名	植松 晃岳

日付	イベント・講座人	会場	参加人数
4月21日	オオルリ観察会（座学と観察会）	烏川溪谷緑地	28人
6月23、24日	ライチョウ観察会（座学と観察会）	燕岳・燕山荘	9人
6月30日 7月1日	ライチョウ観察会（座学と観察会）	燕岳・燕山荘	15人
10月26日	会田中学校総合学習「野鳥講座」	会田中学校	35人
1月24日	動物の足跡観察会（座学と観察会）	烏川溪谷緑地	30人

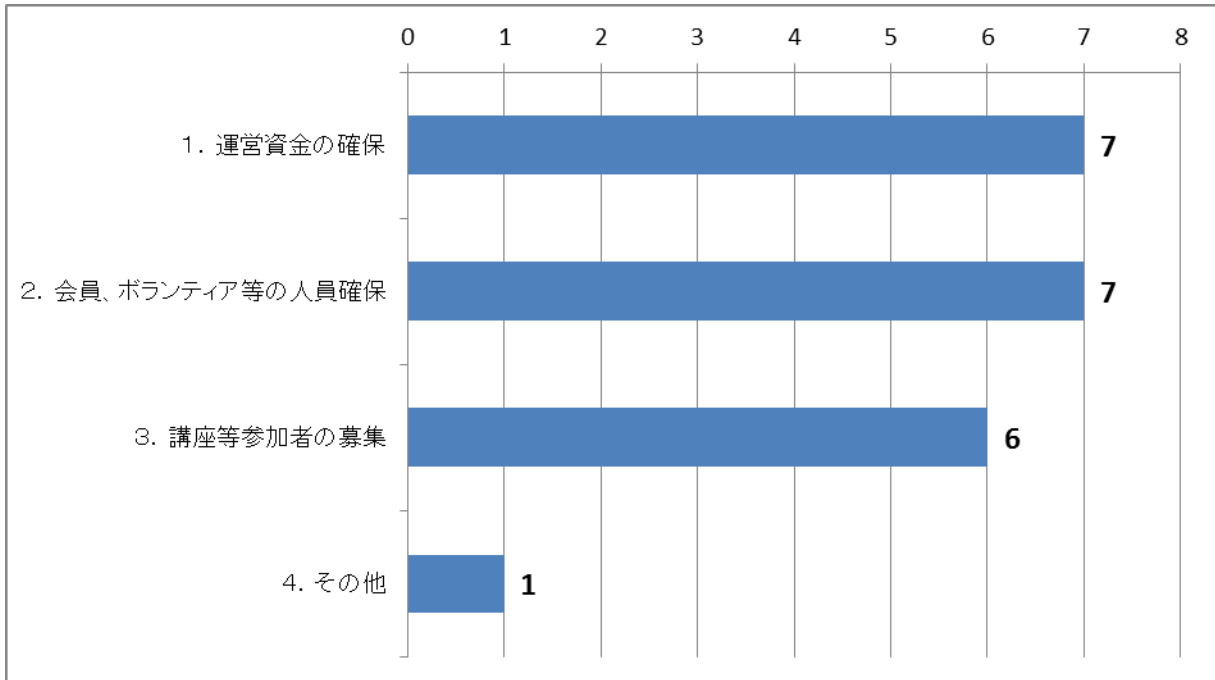
特に来場者からの反響が大きかった活動とその理由

イベント・講座人： オオルリ観察会・ライチョウ観察会

理 由： 関心がある人が多いため

【問】貴団体の運営、イベント・講座等の実施にあたり、課題と感じていることは何ですか。
(複数回答可)

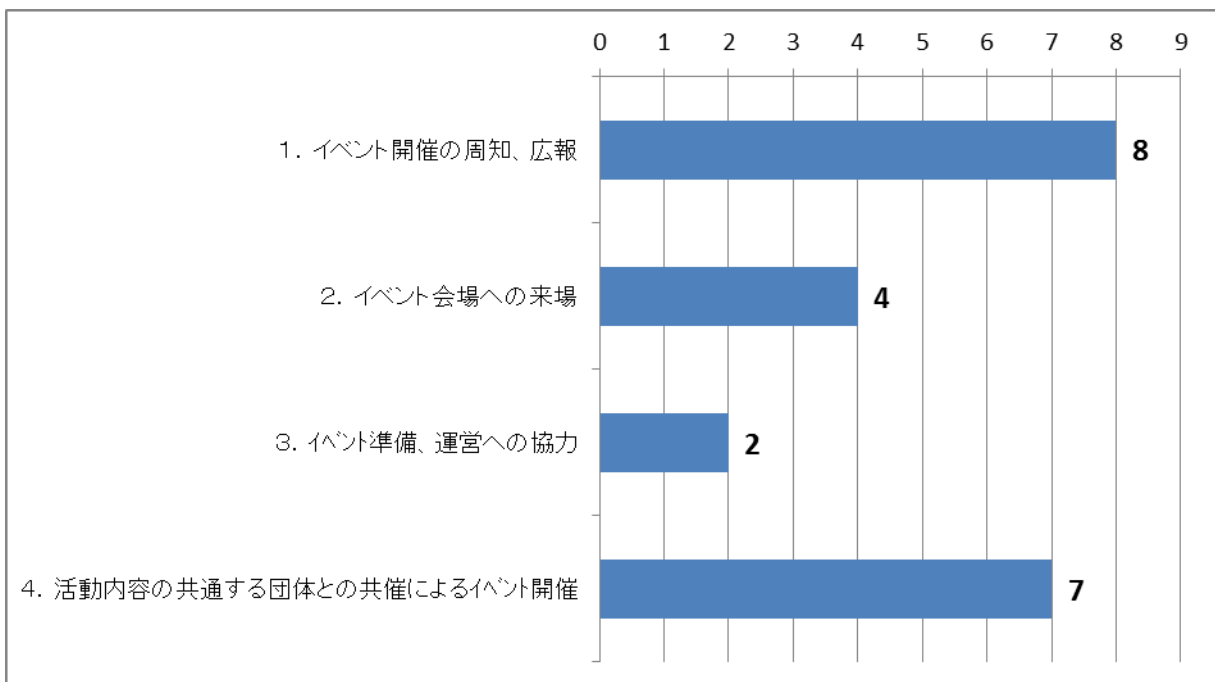
- 1. 運営資金の確保
- 2. 会員、ボランティア等の人員確保
- 3. 講座等参加者の募集
- 4. その他 ()



※4. その他：良好な景観形成の維持

【問】貴団体がイベント・講座を実施する際、他のネットワーク登録団体や環境審議会などにどのようなことを期待しますか。該当する項目に○を記入してください。(複数回答可)

- 1. イベント開催の周知、広報
- 2. イベント会場への来場
- 3. イベント準備、運営への協力
- 4. 活動内容の共通する団体との共催によるイベント開催



【問】 その他、今後環境市民ネットワークとして取り組んでみたい活動がありましたらご自由にご記入ください。(例：特定外来生物（アレチウリなど）の駆除活動)

- ・SDGsの講演とネットワークとしての取り組み
- ・身近なところから市民に出来る環境保護活動の実例を市民に知らせ、環境の大切を知ってもらう活動。家の周りを美しく保つことだけでも自然を守ることになると思う。
- ・SDG s やエシカルの学習会
- ・アレチウリ駆除活動のほか、市として困っていることにお手伝いできることがあれば、会員に協力を求めている。
- ・長峰山山頂草原環境保全のための草刈り

【問】 長野県が開設した「信州環境カレッジ」事業について、該当する項目に○を記入してください。

1. 既に活用した講座を実施又は計画している。
2. 次年度以降、活用した講座の実施を検討している。
3. 活用の可否を検討するため、詳細資料の提供や説明会等の機会を求める。
4. 今のところ活用する予定はない。

